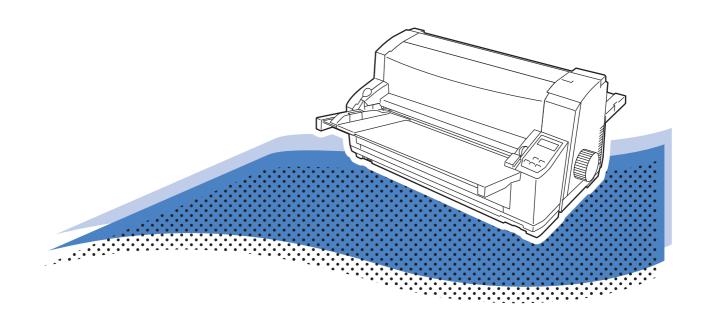
MultiImpact 700 シリーズ

ドットインパクトプリンタ
オンラインマニュアル

MultiImpact 700XA
MultiImpact 700XAN
MultiImpact 700JA
MultiImpact 700JAN

853-811124-503-A
初版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は、指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		**けが**をするおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		**特定しない一般的な注意・警告**を示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		**体内に入れると有害な**物質であることを示します。

行為の禁止

行為の禁止は「🚫」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。感電のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による感電や火災のおそれがあります。
	破損した電源コードは使わないでください。感電や火災のおそれがあります。		直射日光を避けてください。発火のおそれがあります。
	手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれてけがをするおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。けがをするおそれがあります。
	お子様を近づけないでください。けがをするおそれがあります。		たこ足配線にしないでください。発火のおそれがあります。
	電源プラグを中途半端に差し込まないでください。火災のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。感電や火災のおそれがあります。
	プリンタを一人で持ち上げないでください。けがをするおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。	100V専用	電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。火災や漏電のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して火災や感電のおそれがあります。		

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpactは日本電気株式会社の登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本マニュアルは、NECドットプリンタ MultiImpact 700XA/700XAN/700JA/700JAN（以降、まとめて「MultiImpact 700シリーズ」と呼びます）を正しくお使いいただくための手引き書です。
本マニュアルにはMultiImpact 700シリーズの設置、操作に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。
尚、ユーザーズマニュアルではプリンタを初めてお使いになるときの手順や日常の保守、「故障かな？」と思ったときの処置方法が、ソフトウェアマニュアルではプリンタドライバなど添付ソフトウェアのインストール方法が記載されています。併せてご利用ください。

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第1章　用紙の取り扱い

はがきと封筒の印刷方法について説明しています。

第2章　メニューモードで設定変更する

メニューモードやスペシャルメニューモードの設定方法や設定の詳細について説明しています。

第3章　オプション

オプションの取り付け方法や取り外し方法について説明しています。

付録　技術情報

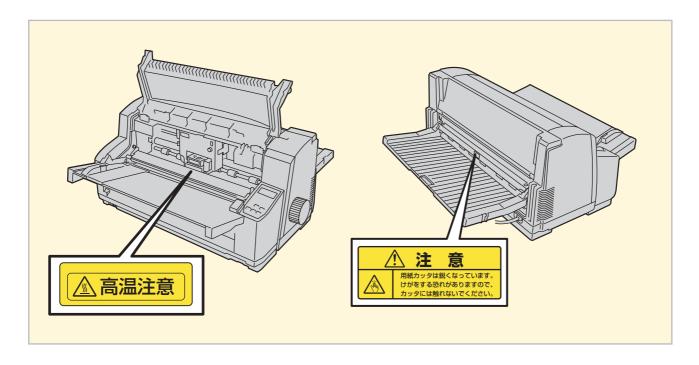
テスト印刷のサンプルや文字コード表を載せています。

目次

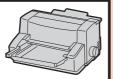
安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiImpact 700シリーズプリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

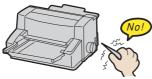
警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明についてはii〜iiiページの「安全にかかわる表示」を参照してください。

分解・修理・改造はしない

本書、またはユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や、火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

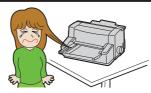
ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠注意

高温注意

プリンタの内部には、使用中に高温になる印刷ヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

プリンタ内に異物を入れない

プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

雷が鳴りだしたらプリンタに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

⚠注意

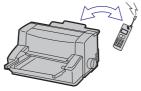
腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
- 装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

ほこり・湿気の多い場所で使用しない

- プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
- プラグ部分はときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

プリンタの近くで携帯電話等を使用しない

携帯電話、スマートフォン、PHS、ポケットベル、無線通信機をプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると、プリンタが異常動作したり、内部の温度が上がり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

不安定な場所に置かない

プリンタを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

インクリボンをなめたりしない

インクリボンカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。インクリボンをなめたりすると健康を損なうおそれがあります。

⚠注意

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

プリンタを一人で持ち上げない

プリンタや添付品を含んだ購入時の梱包箱の質量は、約28kgです。一人で持つと腰を痛めることがあります。持ち運ぶときは二人以上で持ってください。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

1章
用紙の取り扱い

この章では、MultiImpact 700シリーズの用紙の取り扱いについて以下の内容を説明します。

はがき・往復はがきのセット

はがき、往復はがきはカット紙と同じようにシートガイドにセットできます。

チェック

オプションのシートフィーダを使えば、一度に何枚ものはがきをセットすることができます。シートフィーダの使い方は「シートフィーダ」(51ページ)をご覧ください。

使用できるはがき、往復はがきの確認

MultiImpact 700シリーズで使用できるはがきの種類は次のとおりです。
詳細はユーザーズマニュアルの「用紙の規格」をご覧になり、印刷可能範囲も併せて確認してください。

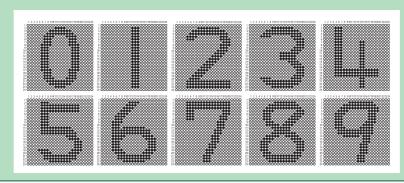
はがきの種類	はがきサイズ	はがき坪量（連量）	用紙セット方向
官製はがき、または同等品	幅100mm×長さ148mm	最大157.0g/m^2（135kg相当）	縦置き、横置き
折り目のない往復はがき	幅200mm×長さ148mm		

はがき、往復はがきに印刷するときの注意

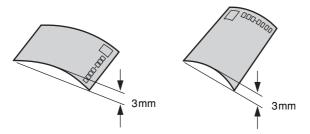
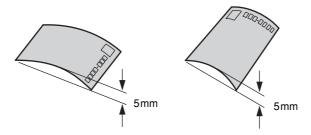
はがき、往復はがきに印刷するときは次のことに注意してください。

- 折り目のある往復はがきは印刷できません。
- 各用紙の印刷範囲を越えて印刷しないように注意してください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。
- 実際のはがきに印刷する前に、官製はがきと同等の用紙を使って試し印刷を行い、印刷位置や印刷濃度を確認してください。
- 差し出し人の郵便番号欄は、はがきの印刷範囲を越えていますので印刷できません。アプリケーションをお使いの場合はご注意ください。
- 印刷は、環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70%の場所で行ってください。

チェック

- 宛先郵便番号を印刷する際にお手持ちのソフトウェアで外字登録を行うことができる場合、下記の日本郵政公社推奨の郵便番号パターンを登録してご使用になることをお勧めします。
- カスタマバーコードを印刷する際は「カスタマバーコードを印刷する」(102ページ)をお読みください。

はがき、往復はがきのカールについて

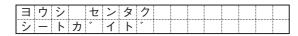
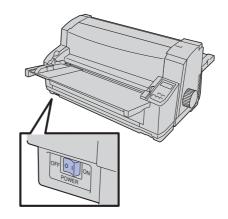
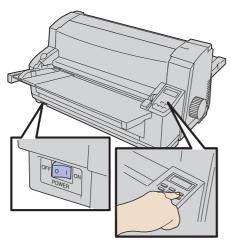
はがき、往復はがきがカールしていると正しく印刷できない場合があります。次のことに注意してください。

- はがきを保管するときは、はがきのカールを防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください。
- はがきがカールしているときは、カールを3mm以下になるように直し、凹部が上側になるようにセットしてください。

- はがきの両面に印刷するときは、片面印刷後カールを直してから反対面に印刷してください。
- はがきを投函するときは、カールが5mm以下になるように直してください。カールが大きいと、郵便番号読取機が番号を読み取れないことがあります。

ハガキ印刷モードの選択とはがきのセットと吸入

次の手順で「ハガキ印刷モード」を設定し、シートガイドにはがきをセットします。

チェック

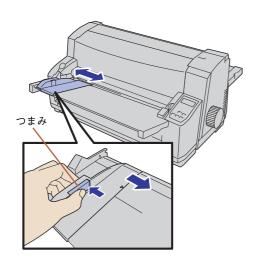
はがきをオプションのシートフィーダにセットするときは、「はがき・往復はがきのセットと吸入」（58ページ）をご覧ください。

❶ ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

❷ プリンタの電源スイッチをOFFにする。

❸ ［高速印刷］スイッチを押したままプリンタの電源スイッチをONにする。

ディスプレイに “シートガイド　ハガキ” と表示されます。
これで、プリンタは「ハガキ印刷モード」になりました。

高速印刷

シ	ー	ト	カ	゛		イ	ト	゛		ハ	カ	゛	キ		

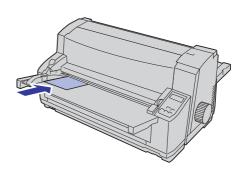
❹ ペーパガイドの ▷ と、シートガイド上の ◁ を合わせる。

ペーパガイドは図のようにつまみを押して移動させてください。

✔チェック

ペーパガイドは右方向に動かすときには、つまみを押さなくても動きますが、つまみを押して移動させる方が正しく調節できます。

❺ はがきをセットする。

はがきの印刷する面を表にし、左端をペーパガイドに合わせます。そのまま軽く奥に突き当たるまではがきを押し込みます。

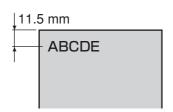
一定時間が経過するとはがきが自動的に吸入されます。用紙ランプが消灯し、印刷可ランプが点灯します。

✔チェック

一定時間とはパラメータ設定の「シートガイドからの用紙吸入時間」で設定した時間です。設定方法は「スペシャルメニューモード」（34ページ）をご覧ください。

チェック

- 前記の方法で「ハガキ印刷モード」をセットした場合は、プリンタの電源スイッチを OFFにするか強制リセットすると「ハガキ印刷モード」は解除されてしまいます。電源をOFFにしても解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキ印刷モードを設定してください。設定方法については「スペシャルメニューモード」（34ページ）をご覧ください。
- はがきは水平にセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押して、いったんはがきを排出してからセットし直してください。
- メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がONになっていると、はがきは自動吸入されません。この場合は、はがきをセット後、［吸入/退避］スイッチを押してはがきを吸入させてください。

はがき吸入位置の微調整

「ハガキ印刷モード」にすると、吸入位置がはがき先端から第1行目の文字中央位置まで11.5mmになります。
吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」（18ページ）をご覧ください。

封筒のセット

シートガイドに封筒をセットする方法について説明します。

チェック

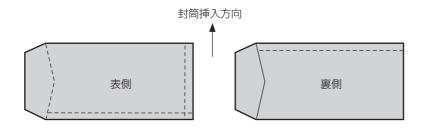
オプションのシートフィーダを使えば、一度に約25枚まで封筒をセットすることができます。シートフィーダの使い方は「シートフィーダ」(51ページ)をご覧ください。

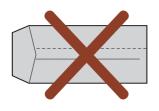
使用できる封筒の確認

MultiImpact 700シリーズで印刷できる封筒の種類は次のとおりです。
詳細はユーザーズマニュアルの「用紙の規格」をご覧ください。また印刷可能範囲も併せて確認してください。

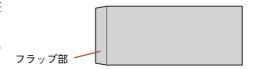
封筒の種類	封筒サイズ（幅／長さ）	封筒坪量＊1	封筒セット方向
長形4号	幅90mm×長さ205mm	50～85g/m^2	横置きのみ
長形3号	幅120mm×長さ235mm	50～85g/m^2	
角形3号	幅216mm×長さ277mm	70～85g/m^2	
角形2号	幅240mm×長さ332mm	70～120g/m^2	
洋形2号＊2	幅114mm×長さ162mm	70～85g/m^2	
洋形5号＊2	幅95mm×長さ217mm	70～85g/m^2	

＊1　単位は坪量［g/m^2］で、坪量とは 1m^2 の質量を g で示したものです。

＊2　シートフィーダではご使用になれません。

封筒に関する注意

- クラフト紙、ケント紙などでできた封筒を使用してください。
- 裏の中央付近で重ね合わせた封筒、フラップ部にのり付けしてある封筒、二重封筒は使用できません。
- 折れ、しわ、破れなどのない封筒を使用してください。
- 封筒がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。
- 封筒を保管するときは、封筒のカールを防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください。

封筒に印刷するときの注意

封筒に印刷するときは、次のことに注意してください。

- 各用紙の印刷範囲を越えて印刷しないように注意してください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。
- 封筒はペーパガイドに沿って、まっすぐセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん封筒を排出してから、セットし直してください。
- メモリスイッチ 4-8（MSW4-8）が ON になっていると、封筒は自動吸入されません。この場合は封筒をセット後、［吸入/退避］スイッチを押して封筒を吸入させてください。
- 封筒の両面に印刷するときは、片面印刷後カールを直してから反対面に印刷してください。
- 封筒への印刷は、環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70%の場所で行ってください。
- フラップ部は曲げないでセットしてください。
- フラップ部の大きさと印刷位置に合わせてペーパガイド位置を調整してください。
- フラップ部や重ね合わせの部分など、段差がある位置には印刷しないでください。

封筒のセットと吸入

次の手順で封筒に印刷します。

チェック

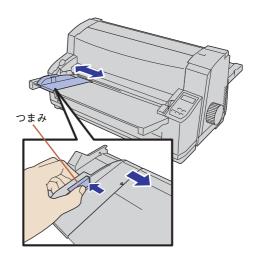
封筒をオプションのシートフィーダにセットするときは、「封筒のセットと吸入」（59ページ）をご覧ください。

❶ ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙選択

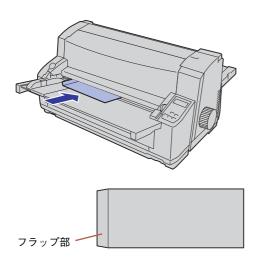
ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

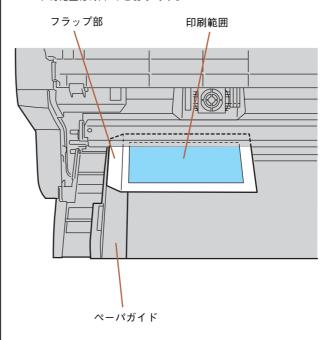
❷ 封筒のフラップ部の大きさに合わせてペーパガイドの位置を調整する。

ペーパガイドは図のようにつまみを押して移動させてください。

ペーパガイドは右方向に動かすときには、つまみを押さなくても動きますが、つまみを押して移動させる方が正しく調節できます。

❸ 封筒をセットする。

封筒の印刷する面を表にして、フラップ部の左端をペーパガイドに合わせます。そのまま奥に突き当たるまで封筒を押し込みます。

一定時間が経過すると封筒が自動的に吸入されます。用紙ランプが消灯し、印刷可ランプが点灯します。

> ✔チェック
>
> 一定時間とはパラメータ設置の「シートガイドからの用紙吸入時間」で設定した時間です。設定方法は「スペシャルメニューモード」(34ページ)をご覧ください。

印刷範囲は以下のとおりです。

連続紙のカット

連続紙をカットするには、ミシン目のカット位置を用紙排出口上部にあるカッタまで送り、手でカットします。カット位置までの用紙送り方法には、以下の3つがあります。

- カット機能を使う（[排出/カット］スイッチを押す）...................................... 14ページ
- 自動カット位置送り機能を使う 16ページ
- プラテンノブを使う 17ページ

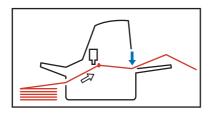
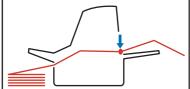
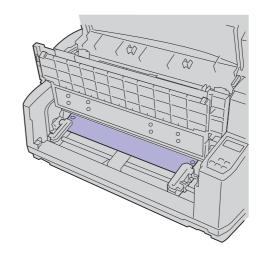
使用している連続紙が坪量46.5～157.0g/m^2（連量40～135kg相当）の上質紙で1枚の場合、連続紙のカット機能を使うことができます。
印刷終了後に連続紙の最後の部分がトラクタから外れている場合は、用紙が排出されてしまうため「カット機能」は働きません。カット機能を使わないで連続紙をカットするときには「プラテンノブ」を使用してください。

カット機能を使う

カット機能とは、連続紙のミシン目位置を用紙排出口上部にあるカッタまで送り出し、手でミシン目部をカットした後、先頭位置（用紙の吸入位置）まで自動的に逆送りする機能です。これにより、連続紙を無駄なく使用することができます。

カット機能を使ってきちんとミシン目位置でカットできるようにするには、あらかじめ連続紙の用紙長を正しく設定しておく必要があります。用紙長の設定については31ページを参照してください。

❶ ［排出/カット］スイッチを押す。

連続紙がカット位置まで送られます。カット位置を微調整する必要がないときは手順5に進んでください。

［排出/カット］スイッチを押したとき、すでに連続紙の下端がトラクタから外れている場合は、用紙は排出されてしまいます。

❷ ［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

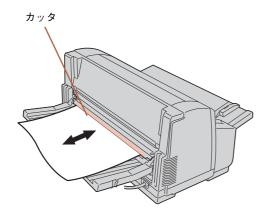
ヨ	ウ	シ		カ	ッ	ト		テ	゛	キ	マ	ス			
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ	゛			

❸［微調モード］スイッチを押すと、ディスプレイに“カットイチ　ビチョウ　±XX.Xmm”と表示される。

チェック

ディスプレイ下段、右端に表示される「＊」は、現在設定されている値であることを示します。

微調モード

カ	ッ	ト	イ	チ		ヒ	゛	チ	ョ	ウ					
	±	X	X	.	X	m	m								＊

この状態で［▲］スイッチまたは［▼］スイッチを押して、ミシン目がカッタの真下にくるように調節します。

［▲］スイッチと［▼］スイッチの機能は次の表のとおりです。

スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
［▲］スイッチ	約0.4mm（2/120インチ）順方向に用紙を送る	連続して送る
［▼］スイッチ	約 4.2mm（20/120インチ）逆方向に用紙を送る	（連続動作なし）

チェック

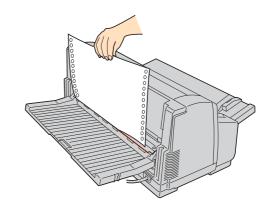
- 微調整時の用紙送りには順方向、逆方向とも限界位置があります。調整範囲は約－4.2mm（－20/120インチ）～約4.2mm（20/120インチ）です。
- 設定した新しいカット位置は記憶され、次からのカット機能実行時のカット位置になります。

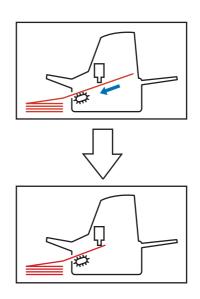
❹［微調モード］スイッチまたは［印刷可］スイッチを押して、設定した値を記憶する。

微調モード　印刷可

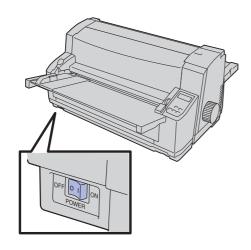
❺連続紙を引き上げ、カッタを利用してカットする。

チェック

用紙の右または左端が破れると、プリンタが用紙幅を誤って認識するため正しく印刷されないことがあります。
連続紙のカットは、ミシン目に合わせてまっすぐカットしてください。ミシン目以外の部分はカッタではきれいにカットできない可能性があります。

❻連続紙がカット位置まで排出された後、しばらくして自動的に先端が吸入位置まで戻ることを確認する。

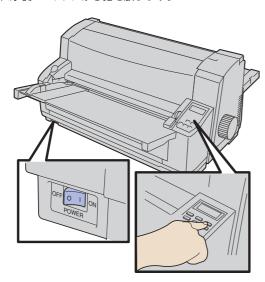
自動動作を待たなくても、もう一度［排出/カット］スイッチを押せば、用紙がすぐ戻ります。

自動カット位置送り機能を使う

印刷後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。メモリスイッチ3-5（MSW3-5）で自動カット位置送り機能をONにします。設定方法は以下のとおりです。

❶ プリンタの電源スイッチをOFFにする。

❷ ［印刷可］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。

ディスプレイに“セッテイチ　インサツ”と表示されたら［印刷可］スイッチから指を放します。

印刷可

セ	ッ	テ	イ	チ		イ	ン	サ	ツ						

❸ ［印刷可］スイッチを2回押す。

ディスプレイに“メモリスイッチ　セッテイ　キノウ”と表示されます。

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		セ	ッ	テ	イ		キ	ノ	ウ

❹ ディスプレイに“MSW3-5 00000000”と表示されるまで［▶］スイッチを数回押す。

［◀］スイッチまたは［▶］スイッチを押すごとに、ひとつ前の設定項目に戻ることができます。

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		セ	ッ	テ	イ		キ	ノ	ウ
M	S	W	3	ー	5		0	0	0	0	0	0	0	0	

❺ ［▲］スイッチを押し、ディスプレイに“MSW3-5 00001000”と表示させる。

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		セ	ッ	テ	イ		キ	ノ	ウ
M	S	W	3	ー	5		0	0	0	0	1	0	0	0	

❻ ［印刷可］スイッチを2回押して、メニューモードを終了する。

これで設定完了です。

また、必要に応じてこの後の「補足説明」を参照してください。

補足説明

用紙がカット位置に送られた後、連続紙をカットした、しないにかかわらず、一定時間で自動的に次の印刷位置まで用紙が戻ります。一定時間とはパラメータ設定の「連続紙カット位置からの自動戻り時間」で設定した時間です。

カットできなかった場合は［排出/カット］スイッチを押して、もう一度用紙をカット位置まで送り直してカットしてください。

あらかじめ、パラメータ設定機能でカット位置からの自動戻り時間を「無限」にすることもできます。各パラメータ設定の方法については「スペシャルメニューモード」(34ページ)をご覧ください。

自動戻り時間を「無限」に設定した場合は、用紙をカットした後［排出/カット］スイッチを押して、次の印刷位置まで用紙を戻してください。

用紙のカットを行わずに印刷を継続すると、障害が発生するおそれがあります。用紙のカットをあまり行わずに印刷を継続する場合は、自動カット位置送り機能をOFFにして使うことをお勧めします。

プラテンノブを使う

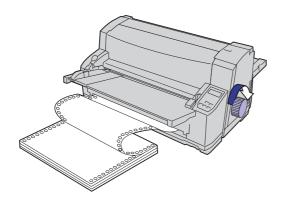
プラテンノブを手で回して、手動で連続紙をカット位置まで送り出す方法です。

❶ ［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。

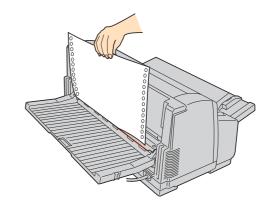
印刷可ランプが消灯します。

印刷可

テ	゛	ィ	セ	レ	ク	ト			ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ	゛			

❷ プリンタ背面のカッタにミシン目がそろうまで、プラテンノブを時計回りに回す。

❸ 連続紙を引き上げ、カッタを利用してカットする。

チェック

- 用紙の右または左端が破れると、プリンタが用紙幅を誤って認識するため正しく印刷されないことがあります。
- 連続紙のカットは、ミシン目に合わせてまっすぐカットしてください。ミシン目以外の部分はカッタではきれいにカットできないことがあります。

❹ ［吸入/退避］スイッチを押し、連続紙を一時退避する。

❺ 再度、［吸入/退避］スイッチを押し、連続紙を吸入する。

用紙吸入位置の微調整

用紙を吸入したとき、吸入位置を微調整することができます。吸入位置はシートガイド、シートフィーダ、フロントトラクタフィーダ、リアトラクタフィーダ、はがきのそれぞれに設定できます。たとえばシートガイドからの吸入時に吸入位置を微調整した場合、その設定は次からのシートガイドからの吸入位置になりますが、連続紙やシートフィーダの吸入位置には影響しません。
シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整については、65ページをご覧ください。
次の方法で微調整を行ってください。

❶ **用紙をセット・吸入する。**

カット紙はシートガイドから自動的に吸入されます。連続紙の場合は用紙のセット後、[吸入/退避] スイッチを押して用紙を吸入します。

❷ **[印刷可] スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。**

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

```
テ゛ィセレクト  ヒョウシ゛ュン
フロントトラクタフィータ゛
```

❸ **[微調モード] スイッチを押して微調モードにする。**

ディスプレイには以下のように表示されます。

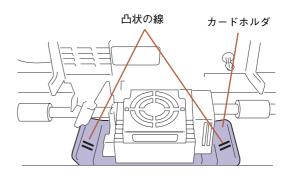
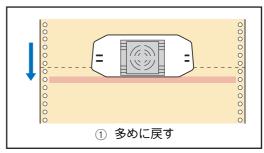
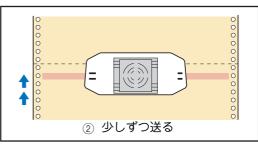
微調モード

```
キュウニュウイチヒ゛チョウ
  XX.Xmm        *
```

❹ **[▲] スイッチまたは [▼] スイッチを使って吸入位置を微調整する。**

[▼] スイッチで用紙を多めに戻してから、[▲] スイッチで微調整するようにしてください。

ディスプレイ下段、右端に表示される＊は、現在設定されている値であることを示します。

カードホルダの左右にある上下2本の凸状の線の間に第1印刷行がくるので、用紙吸入位置を調整するときの目安にしてください。

[▲] スイッチと [▼] スイッチの機能は次の表のとおりです。

スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
▲ スイッチ	約0.4mm（2/120インチ）順方向に用紙を送る	連続して送る
▼ スイッチ	約4.2mm（20/120インチ）逆方向に用紙を送る	（連続動作なし）

❺ **[微調モード] スイッチまたは [印刷可] スイッチを押す。**

新規に設定した吸入位置がプリンタに記憶されます。

微調モード　　印刷可

補足説明

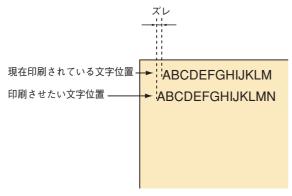
- ［▲］スイッチを押し続けると約0.4mm（2/120インチ）単位で連続して用紙送りできます。
  用紙吸入の工場設定値は次のとおりです。

用紙の種類	用紙上端から第 1 印刷行までの距離
カット紙・封筒（シートガイド使用時）	9.73mm（文字下端まで）
カット紙・封筒（シートフィーダ使用時）	
連続紙	25.4mm（文字下端まで）
はがき	11.5mm（文字中央まで）

- 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第1印刷行（文字下端）までの距離が0〜36mmになる範囲です。印刷範囲についてはユーザーズマニュアルの「印刷範囲」を参照してください。
- 微調整後の用紙吸入位置を記憶するかしないかは、メモリスイッチ 3-3（MSW3-3）で切り替えることができます。「記憶しない」設定の場合、プリンタの電源スイッチをOFFにすると、前の微調位置に戻ります。メモリスイッチの設定については「メモリスイッチ設定モード」（42ページ）をご覧ください。
- 用紙吸入位置はメニューモード、あるいは添付のリモートパネルからも調整できます。

印刷開始位置の微調整

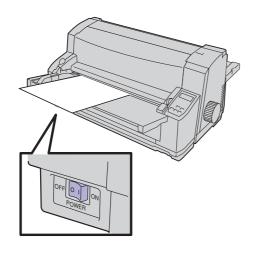
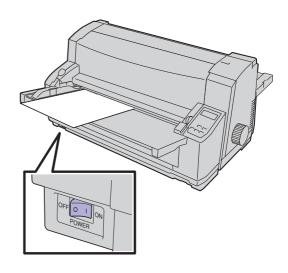
各用紙のセット方法で用紙をセットしても印刷桁位置方向（横方向）の印刷開始位置が合わない場合は、以下の手順で印刷開始位置の微調整を行うことができます。この機能で調整された印刷位置の設定は、シートガイドだけでなくトラクタフィーダ、シートフィーダ使用時も有効となります。

❶ **現在印刷されている印刷位置とお望みの印刷位置とのずれ量を測定してください。**

印刷させたい位置の方が左にある場合は、－（マイナス）です。

印刷させたい位置が右にある場合は、＋（プラス）です。

調整可能範囲は、約－1.3mm（－3/60インチ）から約＋1.3mm（＋3/60インチ）の範囲で、約0.4mm（1/60インチ）単位で調整できます。

❷ **用紙をプリンタにセットし、いったん電源スイッチをOFFにする。**

❸ **電源スイッチをONにする。**

❹ **［印刷可］スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。**

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

テ	゛	ィ	セ	レ	ク	ト			ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

❺ **ディスプレイに“インサツイチ　ビチョウセイ”と表示されるまで［機能選択］スイッチを押す。**

機能選択

イ	ン	サ	ツ	イ	チ		ヒ	゛	チ	ョ	ウ	セ	イ		

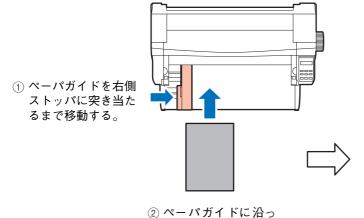
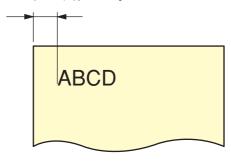
❻ **設定したい数値が表示されるまで［▲］スイッチまたは［▼］スイッチを押す。**

希望の数値が表示されたら［印刷可］スイッチを2回押してください。

カット紙の自動印刷位置補正

この機能は、シートガイド使用時にカット紙をセットするたびペーパガイドの位置を調整をしなくても、プリンタが自動的に印刷開始位置を補正し、常に一定の位置から印刷を開始できるようにするものです。

チェック

- この機能はシートガイドにセットされたカット紙（ハガキ～A4横）にのみ有効です。
- 印刷位置の設定は、メニューモードの「自動位置補正の調整」で設定します（33ページ参照）。
- 印刷データが用紙の右端からはみ出す場合は、印刷ヘッド空打ち防止機能により用紙右端から 1.5mm の位置で印刷データがカットされます。

③ 用紙がペーパガイドから少し離れてしまった時でも、用紙の左端を自動的に検出して、一定の印刷位置に印刷される。

❶ スペシャルメニューモードの「カット紙セット位置」を「自動位置補正」にする（40ページ参照）。

カ	ッ	ト	シ		セ	ッ	ト	イ	チ						
シ	゛	ト	゛	ウ	イ	チ	ホ	セ	イ						

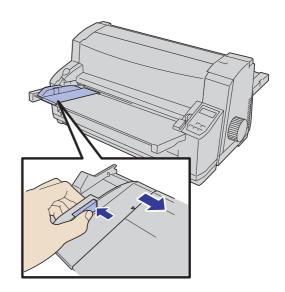
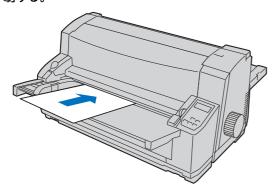
❷ メニューモードの「自動位置補正の調整」で希望の印刷位置を設定する（33ページ参照）。

シ	゛	ト	゛	ウ	イ	チ	ホ	セ	イ		チ	ョ	ウ	セ	イ
＋	9														

❸ ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙選択

ヨ	ウ	シ	セ	ン	タ	ク									
シ	ー	ト	カ	゛		イ	ト	゛							

❹ シートガイドのペーパガイドを右側に突き当たるまで移動する。

❺ **カット紙をペーパガイドに沿ってまっすぐ挿入し、印刷する。**

❻ **印刷結果を確認する。**

希望の印刷位置であればこれで終了です。

以降シートガイドからカット紙（ハガキ〜A4横）をセットすると印刷開始位置は同じになります。

印刷結果が希望の印刷開始位置でなかった場合は手順2からやり直してください。

印刷開始位置
（用紙左端から文字左端）

ABCDEFGHIJKLMN
ABCDEFGHIJKLMN
ABCDEFGHIJKLMN
ABCDEFGHIJKLMN
ABCDEFGHIJKLMN
ABCDEFGHIJKLMN

2章
メニューモードで設定変更する

メニューモード

ここでは、メニューモードで変更できる設定項目、メニューモードの入り方と終了方法、および設定方法について説明します。

メニューモードで変更できる設定項目

メニューモードで変更できる設定項目および初期値を次の表に示します。

設定項目			初期値＊[1]
書式設定	用紙長		66行
	レフトマージン幅		0行
	ライトマージン幅		136桁
	吸入位置	フロントトラクタフィーダ	25.4mm（文字下端）
		リアトラクタフィーダ	25.4mm（文字下端）
		シートガイド	9.7mm（文字下端）
		シートフィーダ	9.7mm（文字下端）
		はがき	11.5mm（文字中央）
		カット紙位置補正	0桁
		フロントトラクタフィーダ位置補正	0桁
	書式クリア		しない
書式選択＊[2]			書式0
複写力選択			標準
書体選択＊[3]			明朝体
用紙厚調整の設定			オート
印刷圧の微調整			0
印刷位置の微調整			0
自動位置補正の調整			0
縮小印刷＊[3]			縮小なし

＊[1]　ディスプレイの末尾に＊で示された設定値は現在の設定値です。

＊[2]　書式選択が「書式0」のときは、レフトマージン、ライトマージンの選択はできません。

＊[3]　縮小印刷の選択、書体選択はプリンタの電源スイッチをOFF にするとクリアされます。

メニューモードの入り方と終了方法

メニューモードの入り方

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **ディセレクト状態になっていることを確認する。**

セレクト状態になっているときは、［印刷可］スイッチを押してディセレクト状態にしてください。印刷可ランプが消灯します。

```
テ゛ィセレクト
フロントトラクタフィータ゛
```

❸ **［機能選択］スイッチを押す。**

メニューモードに入ります。

メニューモードの終了方法

❶ **［印刷可］スイッチを押す。**

メニューモードで選択した値をメモリに書き込み、メニューモードを終了します。

メニューモード時のスイッチ機能

プリンタがメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

スイッチ		機能
通常の状態	メニューモード時)	
機能選択	◀	機能設定項目の選択スイッチとして機能する。
高速印刷	▶	
改行	▲	設定値の変更スイッチとして機能する。これらのスイッチを押すことにより、各項目の数値が増減する。
改頁	▼	
印刷可		メニューモードで選択した値をメモリに書き込み、メニューモードで終了させる。
上記以外のスイッチ		無効。

メニューツリー

ここでは、メニューモードのメニューツリーを載せています。

図中の ←は［機能選択］スイッチを押す
図中の ↓は［改行］スイッチを押す
図中の →は［高速印刷］スイッチを押す
図中の ↑は［改頁］スイッチを押す
ジドウイチホセイチョウセイはカットシセットイチがジドウイチホセイの場合に表示されます。（34ページ）
A
B
インサツイチ ビ チョウセイ 0 ＊
インサツイチ ビ チョウセイ +1
インサツイチ ビ チョウセイ +2
インサツイチ ビ チョウセイ +3
インサツイチ ビ チョウセイ −3
インサツイチ ビ チョウセイ −2
インサツイチ ビ チョウセイ −1
［印刷可］スイッチを押す
ジ ド ウイチホセイ チョウセイ +9 ＊
ジ ド ウイチホセイ チョウセイ +24
ジ ド ウイチホセイ チョウセイ 0
ジ ド ウイチホセイ チョウセイ +8
［印刷可］スイッチを押す
ショタイ センタク ミンチョウタイ ＊
ショタイ センタク ゴ シックタイ
［印刷可］スイッチを押す
シュクショウ インサツ シュクショウ ナシ ＊
シュクショウ インサツ シュクショウ 2／3
シュクショウ インサツ シュクショウ 4／5
［印刷可］スイッチを押す
C
E
ヨウシチョウ 66ギョウ ＊
（次ページへ）
ヨウシチョウ 67ギョウ
ヨウシチョウ 99ギョウ
ヨウシチョウ 1ギョウ
ヨウシチョウ 65ギョウ
［印刷可］スイッチを押す
メニューモードの終了
メニューモードの終了

図中の ←は［機能選択］スイッチを押す　　図中の ↓は［改行］スイッチを押す

図中の →は［高速印刷］スイッチを押す　　図中の ↑は［改頁］スイッチを押す

キュウニュウイチ XXX
XX. XXmm ＊

この表示は吸入位置の微調により、メニュー項目にない値に設定されたときのみ表示されます。

図中の ←は［機能選択］スイッチを押す

図中の →は［高速印刷］スイッチを押す

図中の ↓は［改行］スイッチを押す

図中の ↑は［改頁］スイッチを押す

キュウニュウイチ XXX
XX.XXmm　＊

この表示は吸入位置の微調により、メニュー項目にない値に設定されたときのみ表示されます。

設定の手順

メニューモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「設定の詳細」（31ページ）を見ながら、例を参考にして変更してください。

例：「書式選択」書式0の「用紙長」を99にする。（初期設定値は66）

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯していることを確認してください。

テ゛ィセレクト
フロントトラクタフィータ゛

❸ **［機能選択］スイッチを押す。**

プリンタはメニューモードに入ります。

ショシキ　セッテイ

❹ **［▲］スイッチを押し、下のように表示されていることを確認する。**

ショシキ　セッテイ
ショシキ0

❺ **［▶］スイッチを押し、下のように表示されていることを確認する。**

ヨウシチョウ
66キ゛ョウ　*

❻ **［▲］スイッチをディスプレイの表示が“ヨウシチョウ　99ギョウ”となるまで押して、下のように表示されることを確認する。**

ヨウシチョウ
99キ゛ョウ

❼ **［印刷可］スイッチを押す。**

選択した値をメモリに書き込みメニューを終了します。

設定の詳細

ここでは、メニューモードで設定できる内容を説明します。設定項目の（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

書式設定

書式に設定できる情報（用紙長、マージン幅など）を設定します。書式の設定は5通り（書式0〜書式4）まで登録できます。

1. 用紙長（1 〜【66】〜 99）
   用紙長を改行幅、約4.2mm（1/6インチ）単位で設定します。現在の改行量には影響されません。

2. レフトマージン（【0】〜 135）
   レフトマージン幅を10cpi文字の桁数で設定します。メモリスイッチ2-7（MSW2-7）の設定には影響されません。縮小コマンド受信時は無効となります。書式0では設定できません。

3. ライトマージン（1 〜【136】）
   ライトマージン幅を10cpi文字の桁数で設定します。メモリスイッチ2-7（MSW2-7）の設定には影響されません。縮小コマンド受信時は無効となります。書式0では設定できません。

4. 吸入位置（0、3.18、3.8、4.23、6.03、6.35、8.47、9.7、12.7、【25.4】）
   文字下端での用紙の吸入位置を選択します。設定値の単位はmmです。フロントトラクタフィーダ、リアトラクタフィーダ、シートガイド、シートフィーダ、はがき、それぞれ独立して吸入位置を設定することができます。
   はがきの吸入位置はハガキ印刷モードのときに有効になります。
   書式1〜4の吸入位置はMSW3-3（吸入位置を記憶する/しない）に影響されません。
   各用紙をセットした場合の設定可能な値、不可能な値については以下の表を参照してください。

吸入基準位置		連続紙	カット紙	はがき	備考
1	0mm（文字下端）	○	○	○	
2	3.18mm（1/8インチ、文字下端）	○	○	○	
3	3.8mm（文字下端）	○	○	○	文字上端0mm
4	4.23mm（1/6インチ、文字下端）	○	○	○	
5	6.03mm（文字下端）	○	○	○	
6	6.35mm（1/4インチ、文字下端）	○	○	○	
7	8.47mm（1/3インチ、文字下端）	○	○	○	
8	9.7mm（文字下端）	○	○	×	文字上端6mm カット紙の推奨吸入位置
9	11.5mm（文字中央）	×	×	○	はがきの推奨吸入位置
10	12.7mm（1/2インチ、文字下端）	○	○	○	
11	25.4mm（1インチ、文字下端）	○	○	○	連続紙の推奨吸入位置

○：選択可能な値　×：選択不可能な値

5. カット紙位置補正（【0】〜 68）
   印刷開始位置をプリンタ正面から見て左方向へ移動させる量を10cpi文字の桁数で設定します。
   カット紙使用時は常に有効となります。
   設定した桁数の範囲内のデータを文字幅単位で削除します。印刷データがある場合は印刷データも削除します。

6. フロントトラクタフィーダ位置補正（【0】～ 68）

   印刷開始位置をプリンタ正面から見て左方向へ移動させる量を10cpi文字の桁数で設定します。

   フロントトラクタフィーダ使用時は常に有効となります。

   設定した桁数の範囲内のデータを文字幅単位で削除します。印刷データがある場合は印刷データも削除します。

7. 書式クリア

   現在、設定されている書式番号の内容を初期値に戻します。

機能選択

1. 書式選択（【書式 0】、書式 1、書式 2、書式 3、書式 4）

   どの書式で印刷するかを選択します。［◀］スイッチまたは［▶］スイッチを押して、現在選択されている書式番号を表示した後、［▲］スイッチまたは［▼］スイッチで設定したい書式番号を選択します。

2. 複写力選択（【標準】、厚紙、複写 1）

   複写力を上げて濃く印刷することができる設定です。

   標準： 印刷速度を優先して印刷します。

   厚紙： 用紙が厚いと判断しても速い速度のまま印刷を行います。

   複写1： 印刷速度を落とし複写力を上げて印刷を行います。

3. 用紙厚調整の設定（【オート】、1 ～ 12）

   用紙厚調整動作を選択します。オートを選択した場合は、自動的に用紙の厚さを検出し、用紙枚数1～12枚までの設定値を選択します。

   マニュアル設定値と用紙厚の目安は以下のとおりです。

用紙枚数	用紙坪量（連量）	厚さ（mm）	マニュアル設定値
1枚	46.5g/m^2（40kg）	約0.06mm	1
	64.0g/m^2（55kg）	約0.08mm	1
	81.4g/m^2（70kg）	約0.10mm	1～2
	104.7g/m^2（90kg）	約0.12mm	2
	127.9g/m^2（110kg）	約0.16mm	2～3
	157.0g/m^2（135kg）	約0.19mm	3
2枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.12mm	2
3枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.18mm	3
4枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.24mm	4
5枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.30mm	5～6
6枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.36mm	6
7枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.42mm	7
8枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.48mm	8
9枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.54mm	9

チェック

- 用紙の厚さが0.54mmを超えるものは使用しないでください。
- マニュアル設定の場合は、設定値10～12を使用しないでください。

4. 印刷圧の微調整（-6 ～【0】～ +3）

印刷圧を増やしたい、または減らしたいときに印刷圧の調整を行います。調整単位は0.01mmです。数値を「＋」に設定すると印刷圧が増加し、「－」に設定すると印刷圧が減少します。

5. 印刷位置の微調整（-3 ～【0】～ +3）

罫線などが印刷された用紙の枠内に印刷するときなどに印刷位置を調整する機能です。調整単位は0.42mmです。数値を「+」に設定すると印刷位置が装置正面から見て右方向に、「－」に設定すると左方向に移動します。

6. 書体選択（【明朝体】、ゴシック）

漢字書体を選択します。選択できる書体は明朝体、ゴシック体のどちらかです。プリンタの電源スイッチをOFFにすると設定は初期化されます。

7. 縮小印刷の選択（【縮小なし】、縮小 2/3、縮小 4/5）

ページ縮小印刷モードを設定することができます。縮小基準位置は、装置正面から見て左側を基準とします。ハガキ印刷モードまたはMSW2-7がONのときは、縮小印刷モードはOFFになります。また、プリンタの電源スイッチをOFFにすると設定は初期化されます。

8. 自動位置補正の調整（0 ～【+9】～ +24）

シートガイド使用時のカット紙の印刷開始位置を自動補正（21ページ参照）する際の位置を設定します。調整単位は0.42mmです。数値を「+」に設定すると印刷位置が装置正面から見て右方向に移動します。

「0」を設定すると印刷開始位置は用紙左端から1.3mmに、最大で11.4mmまで設定が可能です。

チェック

- この設定はスペシャルメニューモードの「カット紙セット位置」が「自動位置補正」に設定されているときのみ有効です（40ページ参照）。
- 印刷データが用紙の右端からはみ出す場合は、印刷ヘッド空打ち防止機能により用紙右端から 1.5mm の位置で印刷データがカットされます。
- 印刷位置の自動補正が有効なカット紙のサイズはハガキ～A4横です。

スペシャルメニューモード

ここでは、スペシャルメニューモードで変更できる設定項目、スペシャルメニューモードの入り方と終了方法および設定方法について説明します。

スペシャルメニューモードで変更できる設定項目

スペシャルメニューモードで変更できる設定項目および初期設定値を次の表に示します。

設定モード	機能項目	初期値
パラメータ設定	カット紙セット位置	レフト
	フロントトラクタフィーダセンタリング位置	36桁
	リアトラクタフィーダセンタリング位置	96桁
	カット紙センタリング位置	40桁
	漢字コード表	1978年版
	フォント1	標準
	フォント2	標準
	連続紙カット位置からの自動戻り時間	15秒
	ハガキ印刷モード	OFF
	シートガイドからの用紙吸入時間	2秒
	自動用紙厚調整再実行時間	10秒
	LFピッチ補正ーシートガイド	0
	LFピッチ補正ーシートフィーダ	0
	LFピッチ補正ーフロントトラクタフィーダ	0
	LFピッチ補正ーリアトラクタフィーダ	0
メモリスイッチ設定	「メモリスイッチ設定モード」(42ページ) 参照	
罫線ぞろえ確認モード	罫線ぞろえ確認印刷	―
	罫線ぞろえHD	0
	罫線ぞろえNHS	0

スペシャルメニューモードの入り方と終了方法

スペシャルメニューモードの入り方

1 ［印刷可］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。

スペシャルメニューモードに入り、“セッテイチ　インサツ”とディスプレイに表示されます。

セ	ッ	テ	イ	チ		イ	ン	サ	ツ						

用紙なしの場合でもスペシャルメニューモードに入ることができます。

スペシャルメニューモードの終了方法

❶ ディスプレイにメインメニューの“ケイセンゾロエ　カクニン”が表示されているとき、［印刷可］スイッチを押す。

スペシャルメニューモードを終了します。

ケ	イ	セ	ン	ソ	゛	ロ	エ		カ	ク	ニ	ン			

スペシャルメニューモード時のスイッチ機能

プリンタがスペシャルメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

スイッチ		機能
通常の状態	スペシャルメニューモード時	
印刷可	メニュー	メインメニューの“ケイセンゾロエ　カクニン”が表示されているときに、スペシャルメニューモードを終了させせます。
		各種設定から、メインメニューに戻ります。
		パラメータの設定を確定します。確定されたパラメータのディスプレイ表示には＊が追加されます。
改行	▲	設定値の変更スイッチとして機能します。
改頁	▼	
機能選択	▶	機能項目の選択スイッチとして機能します。
高速印刷	◀	
吸入/退避	吸入/退避	有効（用紙なし検出時）
強制リセット		有効
上記以外のスイッチ		無効

メニューツリー

ここでは、スペシャルメニューモードのメニューツリーを載せています。

図中の ←は［機能選択］スイッチを押す
図中の ↓は［改行］スイッチを押す
図中の →は［高速印刷］スイッチを押す
図中の ↑は［改頁］スイッチを押す
［高速印刷］スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW1→2→3→4→5→1→2→・・・」と昇順に変化します。
［機能選択］スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW5→4→3→2→1→5→4→・・・」と降順に変化します。
A
メモリスイッチ セッテイ キノウ
［印刷可］スイッチを押す
［機能選択］スイッチ または［高速印刷］スイッチ
メモリスイッチ セッテイ キノウ
MSW1-1 00000000
MSW1-1 10000000
MSW1-2 00000000
MSW1-2 01000000
MSW1-3 00000000
MSW1-3 00100000
MSW1-4 00000000
MSW1-4 00010000
MSW1-5 00000000
MSW1-5 00001000
MSW1-6 00000000
MSW1-6 00000100
MSW1-7 00000000
MSW1-7 00000010
MSW1-8 00000000
MSW1-8 00000001
MSW2-1 01000000
MSW2-1 11000000
MSW2-2 01000000
MSW2-2 00000000
MSW2-3 01000000
MSW2-3 01100000
MSW2-4 01000000
MSW2-4 01010000
MSW2-5 01000000
MSW2-5 01001000
MSW2-6 01000000
MSW2-6 01000100
MSW2-7 01000000
MSW2-7 01000010
MSW2-8 01000000
MSW2-8 01000001
MSW3-1 00000000
MSW3-1 10000000
MSW3-2 00000000
MSW3-2 01000000
MSW3-3 00000000
MSW3-3 00100000
MSW3-4 00000000
MSW3-4 00010000
MSW3-5 00000000
MSW3-5 00001000
MSW3-6 00000000
MSW3-6 00000100
MSW3-7 00000000
MSW3-7 00000010
MSW3-8 00000000
MSW3-8 00000001
MSW4-1 00110000
MSW4-1 10110000
MSW4-2 00110000
MSW4-2 01110000
MSW4-3 00110000
MSW4-3 00010000
MSW4-4 00110000
MSW4-4 00100000
MSW4-5 00110000
MSW4-5 00111000
MSW4-6 00110000
MSW4-6 00110100
MSW4-7 00110000
MSW4-7 00110010
MSW4-8 00110000
MSW4-8 00110001
MSW5-1 11000000
MSW5-1 01000000
MSW5-2 11000000
MSW5-2 10000000
MSW5-3 11000000
MSW5-3 11100000
MSW5-4 11000000
MSW5-4 11010000
MSW5-5 11000000
MSW5-5 11001000
MSW5-6 11000000
MSW5-6 11000100
MSW5-7 11000000
MSW5-7 11000010
MSW5-8 11000000
MSW5-8 11000001
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
P

スペシャルメニューモード終了
ディスプレイは"イニシャライズ゛　チュウ"と表示後、
通常表示に戻る

設定の手順

スペシャルメニューモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「設定の詳細」（40ページ）を見ながら、例を参考にして変更してください。

例：「パラメータ設定機能」の「シートガイドからの吸入待ち時間選択」を 5秒にする。（初期設定値は［2秒］）

❶ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

❷ **［印刷可］スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。**

スペシャルメニューモードに入り、“セッテイチ　インサツ”と表示されます。

セッテイチ　インサツ

❸ **［印刷可］スイッチを押し、ディスプレイに“パラメータ　セッテイ　キノウ”と表示されたことを確認する。**

ハ゜ラメータ　セッテイ　キノウ

❹ **［▶］スイッチを10回押し、ディスプレイに“シートガイド　キュウシジカン　2ビョウ　＊”と表示されたことを確認する。**

シートカ゛イト゛　キュウシシ゛カン
2ヒ゛ョウ　＊

❺ **［▼］スイッチを押し、ディスプレイに“シートガイド　キュウシジカン　5ビョウ”と表示されたことを確認する。**

シートカ゛イト゛　キュウシシ゛カン
5ヒ゛ョウ

❻ **［印刷可］スイッチを押して、ディスプレイに“メモリスイッチ　セッテイ　キノウ”と表示されたことを確認する。**

メモリスイッチ　セッテイ　キノウ

❼ **［印刷可］スイッチを2回押す。**

スペシャルメニューモードを終了します。

設定の詳細

ここでは、スペシャルメニューモードで設定できる内容を説明します。設定項目の（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

パラメータ設定モード

センタリング位置、漢字コード表、フォントの選択などの設定を行います。

1. カット紙セット位置（【レフト】、自動位置補正）

   シートガイド使用時にカット紙をセットするとき、自動位置補正を使用するかレフト（左端）にセットするかを指定します。シートフィーダまたは連続紙を使用する場合は、この設定にかかわらず用紙を左端にセットしてください。

2. フロントトラクタセンタリング位置（10～【36】～68）

   フロントトラクタで用紙を吸入するときの印刷ヘッドセンタリング位置を10cpi文字の桁位置で指定します。

3. リアトラクタセンタリング位置（68～【96】～126）

   リアトラクタで用紙を吸入するときの印刷ヘッドセンタリング位置を10cpi文字の桁位置で指定します。

4. カット紙センタリング位置（10～【40】～68）

   カット紙吸入時の印刷ヘッドセンタリング位置を10cpi文字の桁位置で指定します。

5. 漢字コード表（【JIS1978年版】、JIS1983年版、JIS1990年版）

   漢字コード表を選択します。

6. フォント1/フォント2（【標準】、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B）

   フォントを選択します。フォント1はコマンドESC01で選択されるフォント、フォント2はコマンドESC02で選択されるフォントを示します。

7. 連続紙カット位置からの自動戻り時間（8秒、【15秒】、無限）

   連続紙がカット位置まで送られたとき、用紙を自動的に印刷位置に戻すまでの時間を選択します。

8. ハガキ印刷モード（【OFF】、ON）

   ハガキ印刷モードを設定します。この設定をONにすると、プリンタの電源スイッチをONにしたときの設定がハガキ印刷モードとなります。

9. シートガイドからの用紙吸入時間（【2秒】、3秒、4秒、5秒）

   セットした用紙が吸入されるまでの時間を選択します。

10. 自動用紙厚調整再実行時間（0秒、5秒、【10秒】、60秒、180秒、300秒、810秒、無限）

    シートフィーダ使用時に用紙排出後、ここで設定した時間が経過すれば、次の用紙を吸入した時に自動用紙厚設定を行います。

11. LF ピッチ補正―シートガイド（-5 ～【0】～ +5）

給紙方法	設定値 （【 】は、初期設定）	補正量	内容
シートガイド	【0】	0mm	シートガイドの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、254mm（10インチ）に対する補正値です。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、＋方向の補正を行います。また、逆の場合は、－方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

12. LF ピッチ補正―シートフィーダ（-5 ～【0】～ +5）

給紙方法	設定値 （【 】は、初期設定）	補正量	内容
シートフィーダ	【0】	0mm	シートフィーダの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、254mm（10インチ）に対する補正値です。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、＋方向の補正を行います。また、逆の場合は、－方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

13. LF ピッチ補正―フロントトラクタフィーダ（-5 ～【0】～ +5）

給紙方法	設定値 （【 】は、初期設定）	補正量	内容
フロントトラクタフィーダ	【0】	0mm	フロントトラクタフィーダの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、用紙の先端を検出してから254mm（10インチ）に対する補正値です（1Sheet目に対する、その後の Sheet の印刷位置ずれを1Sheet目の累積改行量の長さを調整することで補正します。）。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、＋方向の補正を行います。また、逆の場合は、－方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

14. LF ピッチ補正―リアトラクタフィーダ（-5 ～【0】～ +5）

給紙方法	設定値 （【 】は、初期設定）	補正量	内容
リアトラクタフィーダ	【0】	0mm	リアトラクタフィーダの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、用紙の先端を検出してから254mm（10インチ）に対する補正値です（1Sheet目に対する、その後の Sheet の印刷位置ずれを1Sheet目の累積改行量の長さを調整することで補正します。）。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、＋方向の補正を行います。また、逆の場合は、－方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

メモリスイッチ設定モード

ここでは、メモリスイッチ設定モードで設定できる内容の詳細について説明します。メモリスイッチで設定できる項目および初期設定値を次の表に示します。

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW1	1	各国文字の切り替え	3つのスイッチON/OFFの組み合わせ＊1により、日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの文字を切り替えます。		OFF
	2				OFF
	3				OFF
	4	データ受信方法の切り替え	従来互換	高速受信	OFF
	5	DC1、DC3コード処理の切り替え	有効	無効	OFF
	6	自動復改の切り替え	復帰改行	復帰のみ	OFF
	7	印刷指令コード切り替え	CRのみ	CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b	OFF
	8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	OFF
MSW2	1	数字「0」の字体（1バイトコード系）	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	2	シートガイド使用時の用紙なし検出	印刷時検出	常時検出	ON
	3	ドット対応グラフィックドット数の初期設定	ネイティブモード	コピーモード	OFF
	4	クワイエットモードの切り替え	無効	有効	OFF
	5	HDパイカモード/HSパイカモードの初期設定	HDパイカ	HSパイカ	OFF
	6	7/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	OFF
	7	印刷桁数の切り替え	136桁	80桁	OFF
	8	印刷方向の初期設定	両方向	片方向	OFF
MSW3	1	自動用紙厚調整実行後の再吸入切り替え	再吸入しない	再吸入する	OFF
	2	PCモード/情処モード切り替え	PCモード	情処モード	OFF
	3	用紙吸入位置の記憶	記憶する	記憶しない	OFF
	4	シートフィーダの吸入コード	ESC　a、FF、印刷データ＋印刷指令コード	ESC a、FF、LF、US、VT、印刷データ＋印刷指令コード	OFF
	5	自動カット位置送り機能有効／無効	無効	有効	OFF
	6	改頁実行時のセンタリング動作切り替え	センタリングしない	センタリングする	OFF
	7	数字「0」の字体(2バイトコード系)	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	8	ミシン目スキップの初期設定	スキップしない	スキップする	OFF
MSW4	1	印刷ヘッド空打ち防止機能の有効／無効	有効	無効	OFF
	2	シートフィーダ制御方法	スループット優先モード	斜行補正優先モード	OFF
	3	カット位置送り機能　用紙送り量	固定長	TOF＋固定長	ON
	4	ドット列印刷モードの印刷方向の切り替え	片方向	両方向（MSW2-8 をOFFにしてください）	ON
	5	高速印刷モードの初期設定	標準モード	高速印刷モード	OFF
	6	カット紙（シートガイド）の排出方向の切り替え	コマンド切り替えによる	後方排出固定	OFF
	7	カット紙（シートフィーダ）の排出方向の切り替え	コマンド切り替えによる	後方排出固定	OFF
	8	オートローディング方式（シートガイド自動吸入方式）の切り替え	オート方式	マニュアル方式	OFF

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW5	1	待機モード移行時間の切り替え	15分	1分	ON
	2	待機モード復帰時の初期化動作切り替え	初期化動作する	初期化動作しない	ON
	3	吸入以外のセンタリング位置切り替え	自動検出による	センタリング位置設定による	OFF
	4	用紙左右端検出位置の切り替え	吸入位置の設定による	25.4mm（1インチ）	OFF
	5	用紙切れ判断の切り替え	用紙長設定に従う	用紙最下端付近まで印刷する	OFF
	6	未使用			
	7	未使用			
	8	未使用			

＊1　MSW1-1 ～ 1-3 の組み合わせ。表以外の組み合わせでは、すべてスウェーデン文字となります（各国文字の組み合わせ表は次ページにあります）。

1. MSW1-1　各国文字の切り替え（【OFF】、ON）
2. MSW1-2　各国文字の切り替え（【OFF】、ON）
3. MSW1-3　各国文字の切り替え（【OFF】、ON）

MSW1-1～MSW1-3の3つのメモリスイッチを組み合わせて、各国の文字に切り替えます。メモリスイッチの組み合わせを次の表に示します。

各国文字	MSW1-1	MSW1-2	MSW1-3
アメリカ	OFF	ON	OFF
イギリス	ON	ON	OFF
ドイツ	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	ON
【日本】	【OFF】	【OFF】	【OFF】

4. MSW1-4　データ受信方法の切り替え（【OFF】、ON）

データ受信方法を高速受信にするか従来互換にするか切り替えます。高速受信の場合、同期コマンド等による受信同期機能は無効となります。

5. MSW1-5　DC1、DC3 コード処理の切り替え（【OFF】、ON）

制御コードDC1、DC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。

6. MSW1-6　自動復改の切り替え（【OFF】、ON）

バッファフル印刷を行うとき、復帰の動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。

7. MSW1-7　印刷指令コードの切り替え（【OFF】、ON）

印刷指令コードをどの制御コードに割り当てるかを設定します。

8. MSW1-8　CR 機能の切り替え（【OFF】、ON）

制御コードCRを受信したとき、復帰のみの動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。

9. MSW2-1　数字「0」（1 バイトコード系）の字体（【OFF】、ON）

8ビットコード表、7ビットコード表において、数字「0」の書体を“0”とするか、“ Ø ”とするかを切り替えます。

10. MSW2-2　シートガイド使用時の用紙無し検出（OFF、【ON】）

    シートガイド使用時に用紙無し検出を印刷時のみ行うか、常時行うかを切り替えます。用紙無し検出をON（常時）にすると、用紙がセットされていないときに印刷可ランプが消灯します。

11. MSW2-3　ドット対応グラフィックドット数の初期設定（【OFF】、ON）

    ドット対応グラフィックドット数の横ドット数の初期設定をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。

12. MSW2-4　クワイエットモード（【OFF】、ON）

    クワイエットモードの有効/無効を切り替えます。

13. MSW2-5　HD パイカモード /HS パイカモードの初期設定（【OFF】、ON）

    印刷モードの初期設定をHDパイカにするか、HSパイカにするか切り替えます。

14. MSW2-6　7/8 ビットデータの切り替え（【OFF】、ON）

    インタフェースのデータが7ビット有効か8ビット有効かを切り替えます。グラフィック（ドット列印刷）モードでのデータ転送は、このメモリスイッチの設定にかかわらず8ビット有効です。

15. MSW2-7　印刷桁数の切り替え（【OFF】、ON）

    1行に印刷する文字数を、10cpi文字で136桁にするか、80桁にするかを切り替えます。80桁に指定した場合、用紙のセット位置は左端基準の第1桁から第80桁が印刷範囲となります。

16. MSW2-8　印刷方向の初期設定（【OFF】、ON）

    印刷方向を両方向最短印刷にするか、片方向印刷にするかを切り替えます。ドット列印刷の印刷方向は、MSW2-8とMSW4-4両方の設定が必要です。

17. MSW3-1　自動用紙厚調整実行後の再吸入切り替え（【OFF】、ON）

    用紙吸入時の自動用紙厚調整後に用紙の再吸入を実施しないか、再吸入を実施するかを切り替えます。この機能はフロントトラクタ、もしくはリアトラクタ使用時のみ有効です。

18. MSW3-2　PC モード / 情処モード切り替え（【OFF】、ON）

    PCモード/情処モードを切り替えます。

19. MSW3-3　用紙吸入位置の記憶（【OFF】、ON）

    用紙吸入位置を微調整したとき、微調整後の吸入位置を記憶するか、しないかを切り替えます。ONにした場合、微調モードで微調整した値は記憶しないので、電源再投入後または強制リセット時に工場設定値に戻ります。

20. MSW3-4　シートフィーダの吸入コード（【OFF】、ON）

    シートフィーダの吸入コードは、一般的に吸入命令（ESCa）を使用しますが、改行コード（LF、VT、複数改行）でも吸入を実行するか、しないかを切り替えます。

21. MSW3-5　自動カット位置送り機能の有効 / 無効（【OFF】、ON）

    印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能を有効にするか、無効にするかを切り替えます。「ON」に設定すると自動カット位置送り機能が有効となります。

22. MSW3-6　改頁実行時のセンタリング動作切り替え（【OFF】、ON）

    次ページの印刷開始位置まで改行動作を行ったときに、印刷ヘッドをセンタリングしないか、センタリングするかを切り替えます。この機能はフロントトラクタ、もしくはリアトラクタ使用時のみ有効です。

23. MSW3-7　数字「0」（2 バイトコード系）の字体（【OFF】、ON）

    漢字コード表において、数字「0」の書体を“0”とするか、“ Ø ”とするかを切り替えます。

24. MSW3-8　ミシン目スキップの初期設定（【OFF】、ON）

電源ON時に連続紙のミシン目の前後約25.4mm(1インチ）の印刷をスキップするか、しないかを切り替えます。この機能は連続紙使用時に有効で、ONにするとスキップします。また、VFUコマンドによってボトムライン設定時は、その設定が優先されます。

25. MSW4-1　印刷ヘッド空打ち防止機能の有効 / 無効（【OFF】、ON）

有効（OFF）にすると、用紙の左右端位置を自動的に検出し、プラテンへの空印刷によるプラテン汚れを防止します。

26. MSW4-2　シートフィーダ制御方法（【OFF】, ON）

シートフィーダから用紙を吸入するときプリンタ本体内での斜行補正を行わないスループット優先モードにするか、斜行補正を行う斜行補正優先モードにするかの切り替えを行います。

27. MSW4-3　カット機能の用紙送り量（OFF、【ON】）

カット時の用紙送り量を「固定長」にするか、「ページ先頭位置＋固定長」にするかを切り替えます。［排出/カット］スイッチによるカット位置送りのみ有効です。

28. MSW4-4　ドット列印刷モードの印刷方向（OFF、【ON】）

ドット列印刷モードの印刷方法を、片方向にするか、両方向にするかを切り替えます。MSW2-8でON（片方向印刷）を指定している場合、MSW4-4をON（両方向）にしてもドット列印刷方向は片方向となります。

29. MSW4-5　高速印刷モードの初期設定（【OFF】、ON）

電源ON時に高速印刷を選択するか、解除するかを切り替えます。

30. MSW4-6　カット紙（シートガイド）の排出方向の切り替え（【OFF】, ON）

シートガイド使用時に、用紙排出方向を排出方向指定コマンドに従うか、後方排出固定（スタッカに排出）するかを切り替えます。OFFで排出方向指定コマンドがない場合は前方排出（シートガイドに排出）します。

31. MSW4-7 カット紙（シートフィーダ）の排出方向の切り替え（【OFF】, ON）

シートフィーダ使用時に、用紙排出方向を排出方向指定コマンドに従うか、後方排出固定（スタッカに排出）するかを切り替えます。OFFで排出方向指定コマンドがない場合は、後方排出となります。

32. MSW4-8　オートローディング方式（シートガイド自動吸入方式）の切り替え（【OFF】、ON）

シートガイドを使用するとき、用紙の吸入方式をマニュアル方式にするか、オート方式にするかを切り替えます。マニュアル方式では［吸入/退避］スイッチを押して用紙を吸入させますが、オート方式にするとカット紙はセットされてから一定時間（パラメータ設定モードのシートガイドからの用紙吸入時間で設定した時間）経過後に自動的に吸入されます。

33. MSW5-1　待機モード移行時間の切り替え（OFF、【ON】）

印刷動作やスイッチ操作が行われなくなってから待機モードに移行するまでの時間を、1分にするか、15分にするかを切り替えます。待機モードに移行すると待機電力が低下します（省電力)。トップカバーを開けているときは待機モードには移行しません。

34. MSW5-2　待機モード復帰時の初期化動作切り替え（OFF、【ON】）

待機モードから復帰するときにプリンタの初期化動作を実施するか、初期化動作を実施しないかを切り替えます。ただし、初期化動作をしない設定の場合でも、15分経過後に待機モードから復帰した時は初期化動作を実施します。

35. MSW5-3　吸入以外のセンタリング位置切り替え（【OFF】、ON）

用紙を吸入するとき以外のセンタリング位置を、用紙左右端の自動検出による用紙中央位置にするか、パラメータ設定モードのセンタリング位置に従うかを切り替えます。トップカバーを開けているときはこのメモリスイッチの設定にかかわらず装置中央位置にセンタリングします。

36. MSW5-4　用紙左右端検出位置の切り替え（【OFF】、ON）

    吸入位置設定が20.32mm（0.8インチ）未満の場合に用紙左右端を検出する動作を、設定された吸入位置で行うか、用紙先端から25.4mm（1インチ）の位置で行うかを切り替えます。この機能はフロントトラクタ、もしくはリアトラクタ使用時のみ有効です。

37. MSW5-5　用紙切れ判断の切り替え（【OFF】、ON）

    用紙切れによる排出動作を、用紙長設定に従って実施するか、用紙最下端付近まで印刷してから実施するかを切り替えます。用紙長設定と吸入された用紙の長さが一致していない場合に切り替えて使用します。

38. MSW5-6　未使用

39. MSW5-7　未使用

40. MSW5-8　未使用

罫線ぞろえ確認モード

罫線印刷位置のずれを調整します。

1. 罫線ぞろえ確認印刷

   罫線ぞろえ確認印刷を行います。以下の手順に従ってください。

❶ **用紙をセットする。**

カット紙または連続紙をセットしてください。用紙のセット方法については、ユーザーズマニュアルを参照してください。

❷ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

❸ **[印刷可] スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。**

スペシャルメニューモードに入り、“セッテイチ　インサツ”と表示されます。

セ	ッ	テ	イ	チ		イ	ン	サ	ツ						

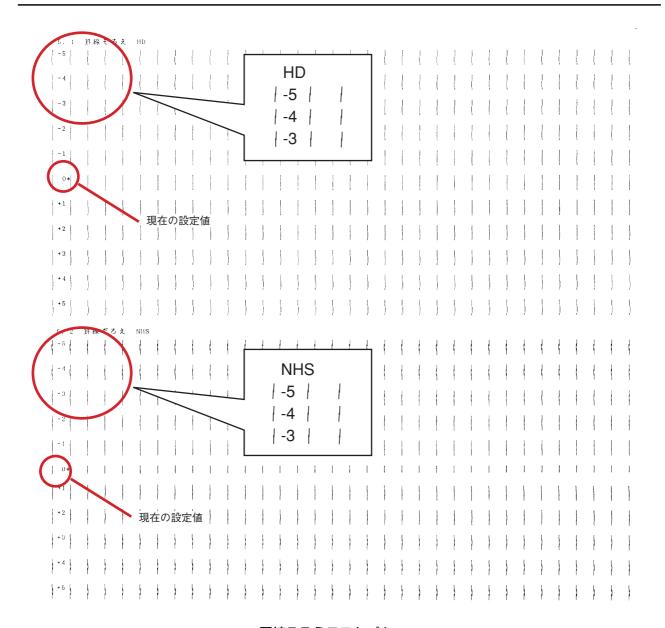
❹ **[印刷可] スイッチを3回押し、ディスプレイに“ケイセンゾロエ　カクニン”と表示されていることを確認する。**

ケ	イ	セ	ン	ソ	゛	ロ	エ		カ	ク	ニ	ン			

❺ **[▶] スイッチを押し、ディスプレイに“ケイセンカクニン　インサツ”と表示されていることを確認する。**

ケ	イ	セ	ン		カ	ク	ニ	ン		イ	ン	サ	ツ		

❻ **[▼] スイッチまたは [▲] スイッチを押す。**

次のように罫線ぞろえ確認印刷が出力されます。（例は連続紙の場合）

罫線ぞろえテストパターン

2. 罫線ぞろえ HD（-5 ～【0】～ +5）

漢字、HDパイカの罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.035mm（1/720インチ）単位で、-0.175mm（-5/720インチ）から+0.175mm（+5/720インチ）まで可能です。「1.　罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

3. 罫線ぞろえ NHS（-5 ～【0】～ +5）

高速印刷漢字、高速印刷HDパイカ、NHSパイカの罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.035mm（1/720インチ）単位で、-0.175mm（-5/720インチ）から+0.175mm（+5/720インチ）まで可能です。「1.　罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

HEXダンプモード切り替え

プリンタが受信したデータを16進コードとデータに対する英数カタカナ文字で印刷します。HEXダンプモードはプログラムで正しく印刷できないときなど、その原因を見つけるために使用します。

チェック

- カバーオープンまたは排出アラーム中はHEXダンプモード切り替えを行うことはできません。
- 用紙サイズは、用紙幅A4縦以上のカット紙か、用紙幅254mm（10インチ）以上の連続紙をセットしてください。これより小さい用紙の場合、印刷データが全部印刷されない可能性があります。

❶ **印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になっていることを確認する。**

ディスプレイに“セレクト”と表示されていない場合は［印刷可］スイッチを押してセレクト状態に切り替えてください。（例は、給紙方法がフロントトラクタの場合です。）

セ	レ	ク	ト												
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ	゛			

❷ **［印刷可］スイッチを押したまま［改頁］スイッチを2回押す。**

❸ **［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが点灯し、印刷可能状態になります。

HEXダンプモードに切り替わると、ディスプレイに“HEXダンプ”と表示されます。（例は、給紙方法がフロントトラクタの場合です。）

H	E	X	タ	゛	ン	フ	゜								
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ	゛			

これでプリンタが受信したデータを16進コードとデータに対する英数カタカナ文字で印刷されます。

❹ **HEXダンプモードを終了するときは、［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押してプリンタを強制リセットする。**

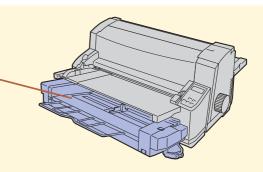
チェック

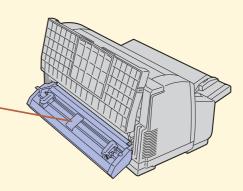
- データに該当する英数カナ文字がないときは、「.　」を印刷します。
- HEXダンプを一時中断するときは、［印刷可］スイッチを押してください。もう一度押すと再開します。
- 途中で用紙がなくなった場合（ディスプレイ表示“ヨウシヲ　セットシテクダサイ”）は、新しい用紙をセット・吸入してください。続きが印刷されます。
- ハガキ印刷モード時は無効となります。

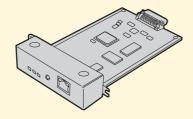
3章 オプション

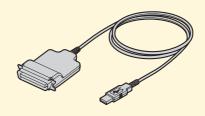
この章では、MultiImpact 700シリーズ用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

シートフィーダ　51ページ
（型番　PR-D700XA-04）

◇ カット紙やはがきを自動的に給紙します。
◇ カット紙を約280枚までセットできます（A4サイズの用紙で連量55kgの場合）。
◇ 複写式用紙は5枚綴りのものを約60組までセットできます（A4サイズの複写式用紙の場合）。

リアトラクタフィーダ　67ページ
（型番　PR-D700XA-03）

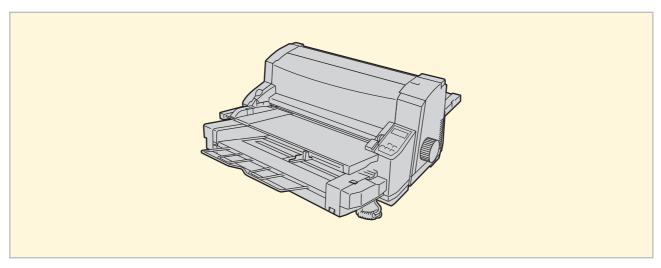
◇ 連続紙を後ろから給紙することができます。リアトラクタフィーダを使うことによりフロントトラクタフィーダと合わせて2種類の連続紙を切り替えて使用することができます。

プリントサーバ（LANボード）
（型番　PR-NP-16）

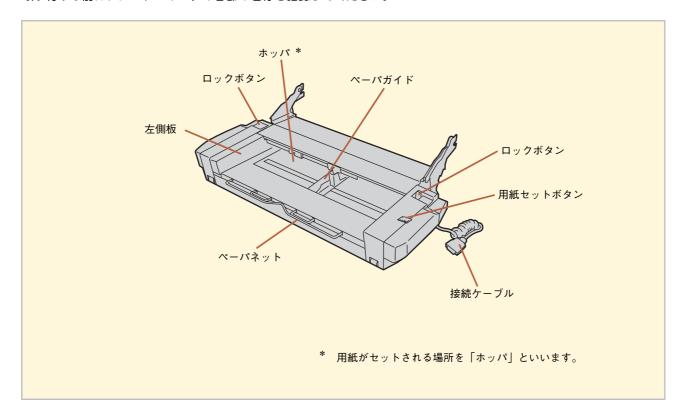
◇ 取り扱いについては、プリントサーバのオンラインマニュアルをご覧ください。

USB-パラレル変換ケーブル
（型番　PR-NP-U01）

◇ 取り扱いについては、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

オプション一覧

シートフィーダ

ここでは、PR-D700XA-04シートフィーダのプリンタへの取り付け・取り外しと、用紙のセット方法について説明します。

各部の名称

プリンタにシートフィーダを取り付けた状態

取り付ける前に、シートフィーダの各部の名称を確認してください。

シートフィーダの取り付け

シートフィーダは次の手順でプリンタの前面に取り付けます。

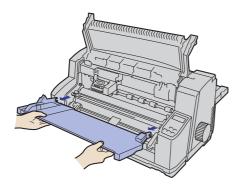
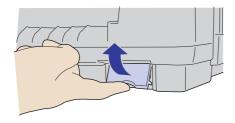
❶ **連続紙やシートガイドに用紙がセットされているときは、それぞれの用紙を取り除く。**

連続紙は［吸入/退避］スイッチを押して一時退避させます。印刷終了後の連続紙がセットされているときは、印刷されたページをカットしてから［吸入/退避］スイッチを押してください。

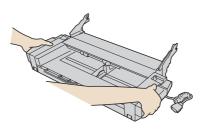
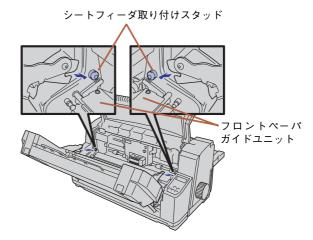
❷ **プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認する。**

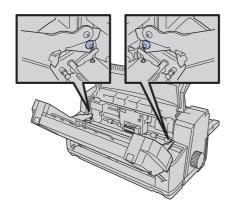
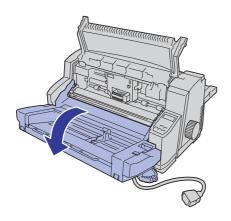
> **重要**
>
> プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り付けると故障の原因となることがあります。

❸ **トップカバーを開け、シートガイドを取り外す。**

シートガイドの両サイドを持ち、手前に引き抜きます。

❹ **プリンタ前面の右下にあるコネクタカバーを取り外す。**

> **チェック**
>
> 取り外したコネクタカバーは、シートフィーダを取り外すときに必要です。なくさないように保管しておいてください。

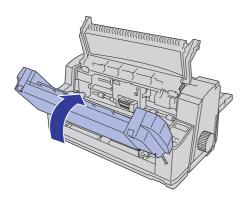
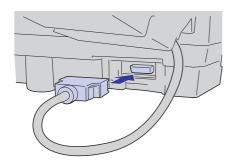
❺ **シートフィーダを取り付ける。**

シートフィーダを図のように持ちます。

左右にある傘の形をしたスタッドに押し込みます。

> **チェック**
>
> 傘の形をしているスタッドはフロントペーパガイドユニットよりも上に位置しています。

左右のシートフィーダ取り付けスタッドに左右のツメがはまったことを確認します。

下に突き当たるまでそのまま下ろします。

✔チェック

- ケーブルをシートフィーダの下に挟まないよう注意してください。
- シートフィーダを確実に下に突き当たるまで下ろして使用してください。中途半端に下ろすと紙づまりの原因となります。

❻ シートフィーダのコネクタをプリンタのコネクタに差し込む。

シートフィーダを上げます。

シートフィーダのコネクタをプリンタのソケットに差し込みます。

✔チェック

シートフィーダのケーブルが連続紙に触れないようにしてください。

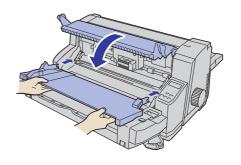
シートフィーダを上に少し持ち上げ、元のとおりに下ろします。

✔チェック

シートフィーダを下ろす際は、ホッパ部を押しながら下ろさないでください。ホッパ部を押し下げると、シートフィーダ内部の部品を破損するおそれがあります。

❼ シートガイドを取り付け、トップカバーを閉める。

これでシートフィーダの取り付けは完了です。

シートフィーダを取り外す場合は「シートフィーダの取り外し」（63ページ）を参照してください。

シートフィーダ使用時の注意

シートフィーダを使用するときは次のことに注意してください。

チェック

- シートフィーダには2種類以上の用紙をセットしないでください。シートフィーダを使用する場合は、必ず1種類の用紙をセットしてください。
- 用紙がプリンタ内に残ったままプリンタの電源スイッチを ON にしたりソフトウェアリセットや強制リセットを行ったりしたときは、その用紙は自動的に排出されます。
- プリンタの電源スイッチがONのときや強制リセット時には、用紙がセットされている、いないにかかわらず、用紙ランプは消灯しています。
- シートフィーダでは逆方向改行はできません。
- ペーパネットの上に用紙など、物を載せないでください。

シートフィーダへの用紙のセットと吸入

シートフィーダにセットできる用紙は、カット紙、複写式カット紙、はがき、折り目のない往復はがき、封筒です。連続紙はセットできませんが、シートフィーダをプリンタに取り付けたまま連続紙をフロントトラクタユニットにセットすることはできます。また、「用紙吸入位置の微調整」は、シートガイドからの用紙の吸入と同じように調整することができます（詳しくは「シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整」（65ページ）を参照してください)。

用紙の種類	セットできる枚数＊1
普通紙	約280枚（坪量64.0g/m^2（連量55kgの場合））
複写式用紙 1組5枚まで（オリジナル+4枚） （シートガイド使用時は9枚）	約60組（300枚）
はがき・往復はがき	約100枚
封筒	約25枚

＊1　セットできる用紙の最大の高さは 22mm です。封筒をセットする場合は、約 25 枚までです。封筒の一番厚い部分での高さが用紙限界マークを越えないようにセットしてください。

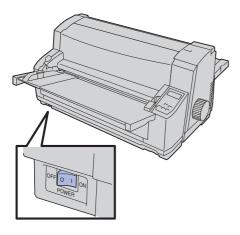
用紙をセットする前に、シートフィーダにセットできる用紙の種類と枚数を確認してください。
詳細はユーザーズマニュアルの「用紙の規格」をご覧ください。また印刷可能範囲も併せて確認してください。

チェック

- 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。
- シートフィーダにセットした用紙の枚数が多すぎると、アラームランプが点灯し、動作しなくなることがあります。この場合は、左側板にある用紙セット限界マークを超えないように枚数を減らし、いったんプリンタの電源スイッチをOFFにした後、再度電源スイッチをONにしてください。
- シートフィーダで斜行が発生する場合には、スペシャルメニューモードのメモリスイッチ4-2（MSW4-2）S/F制御方法をONにすることにより、より精度の良い用紙吸入方法に切り替えられます。メモリスイッチ4-2の設定は、「メモリスイッチ設定モード」（42ページ）をご覧ください。

カット紙・複写式カット紙のセットと吸入

MultiImpact 700シリーズのカット紙のセット位置は、左端を基準にしています。アプリケーションの設定で用紙のセット位置を中央にしている場合は、メニューモードのカット紙位置補正機能を使用して印刷位置を補正してください。

❶ プリンタの電源スイッチをONにする。

❷ 印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし、［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させる。

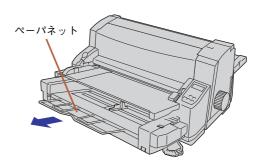
連続紙のカットについては「連続紙のカット」（14ページ）、一時退避についてはユーザーズマニュアルの「連続紙を取り除く」をご覧ください。

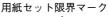
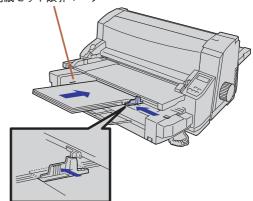
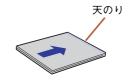
吸入/退避

❸ ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ	゛								

❹ ペーパネットを引き出す。

❺ 用紙をホッパにセットし、右のペーパガイドを印刷する用紙サイズに合わせる。

印刷する面を上にし、カット紙の左端をシートフィーダの左側板に合わせ、そのままカット紙の先端をフロントガイドにぴったりと突き当たるまで挿入し、右のペーパガイドを用紙に合わせます。ペーパーガイドを動かすときは3本線の入った部分を持って動かしてください。その際、ペーパガイドの水平板をカット紙の下に入り込ませてください。

複写式用紙を使用する場合は、印刷する面を上にし、天のりの方を挿入します。

チェック

- 用紙はペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん排出してから、セットし直してください。
- 用紙はよくさばき、上下左右をそろえてください。特に複写式の場合、のり付けの部分が次の用紙と貼り付いていることがあります。
- 左側のみ綴じてある片綴じ伝票は使用しないでください。紙づまりが発生するおそれがあります。
- 折り目、しわ、傷、反りがあるもの、用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質、厚さ、大きさの異なる用紙を混ぜて使用しないでください。
- 一度にセットできる用紙の最大量は、用紙の総紙厚が22mm以下です。
- ホッパにセットできるカット紙の量はシートフィーダの左側板の用紙セット限界マークまでです。
- 一般紙の場合、坪量64.0g/m^2（連量55kg相当）で約280枚です。はがき、官製はがきの場合は約100枚です。封筒の場合は約25枚です。
- 官製はがきの両面に印刷する場合は、片面を印刷した後、反りをなくしてから反対側の面に印刷してください。

❻［吸入/退避］スイッチを押す。

ホッパが自動的に持ち上がり、用紙が吸入されます。

吸入/退避

これで用紙のセット・吸入は完了です。印刷するデータをプリンタが受信すれば、カット紙への印刷が開始されます。また、用紙の吸入位置および横方向の印刷位置を微調整することができます。詳しくは「シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整」（65ページ）および「印刷開始位置の微調整」（20ページ）をご覧ください。

印刷中はペーパガイドを移動しないでください。正しく印刷されないことがあります。印刷終了後にペーパガイドを移動してください。

用紙を追加または変更するときは

一度セットした用紙にさらに用紙を追加したり、印刷するカット紙の種類を変更するときは、次の手順で行います。はがき、封筒、名刺サイズの用紙の場合も同様の手順です。

チェック

- シートフィーダには2種類以上の用紙を同時にセットしないでください。シートフィーダを使用する場合は、必ず1種類の用紙をセットしてください。
- 用紙をホッパへセットする前に用紙をさばいてください。

❶ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯し、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）になります。

印刷可

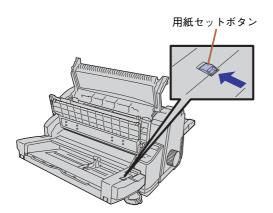
テ	゛	ィ	セ	レ	ク	ト			ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ	゛								

チェック

本操作を行わなかった場合、正しい印刷ができないことがあります。

❷ トップカバーを開き、シートガイドを上げる。

❸ 用紙セットボタンを右から左へ押す。

ホッパが下がります。

重要

用紙セットボタンを使用せず、手などを使って強制的にホッパを押し下げると、シートフィーダ内部の部品を破損するおそれがあります。ホッパを押し下げるときは上図に示す用紙セットボタンを使用してください。

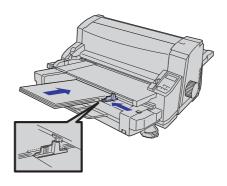
❹ すべての用紙をいったん取り除く。

❺ 用紙をよくそろえて、追加または変更する。

チェック

用紙を追加または変更する前に、セットできる用紙の種類と枚数を確認してください。
カット紙については「カット紙・複写式カット紙のセットと吸入」（55ページ）、はがき、往復はがきについては「はがき・往復はがきのセットと吸入」（58ページ）、封筒については「封筒のセットと吸入」（59ページ）を参照してください。

❻ 追加または変更した用紙をホッパにセットし直す。

右のペーパガイドも合わせ直してください。

❼ トップカバーとシートガイドを戻す。

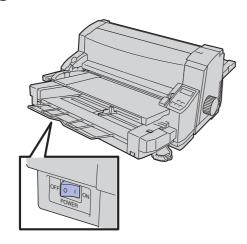
❽ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になります。

印刷可

セ	レ	ク	ト						ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ	゛								

はがき・往復はがきのセットと吸入

はがき・往復はがきをセットする前に、「使用できるはがき、往復はがきの確認」（7ページ）、「はがき、往復はがきに印刷するときの注意」（7ページ）をご覧ください。

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させる。**

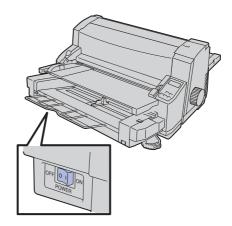
連続紙のカット、一時退避についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

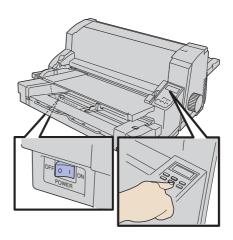
吸入/退避

❸ **ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ	゛								

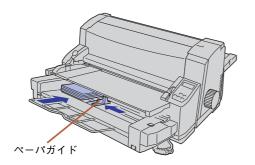
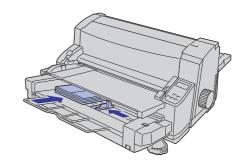
❹ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

❺ **［高速印刷 ］スイッチを押したままプリンタの電源スイッチをONにする。**

これでプリンタは「ハガキ印刷モード」になります。

ディスプレイに“セレクト　ヒョウジュン　シートフィーダ　ハガキ”と表示されます。

高速印刷

セ	レ	ク	ト		ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン				
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ	゛		ハ	カ	゛	キ			

❻ **はがきをホッパにセットする。**

はがきをセットする場合は、印刷する面を上にし、はがきの左端をシートフィーダの左側板に合わせ、そのままはがきの先端をフロントガイドにぴったりと突き当たるまで挿入し、右のペーパガイドをはがきに合わせます。その際ペーパガイドの水平板は、はがきの下に入り込ませてください。

往復はがきも普通のはがきと同じ手順でセットします。

❼ **［吸入/退避］スイッチを押す。**

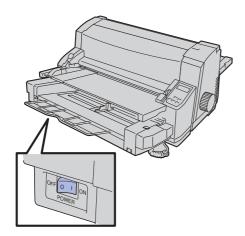
ホッパが自動的に持ち上がり、はがきが吸入されます。

印刷するデータをプリンタが受信すれば、はがきへの印刷が開始されます。

チェック

- 上記の方法で「ハガキ印刷モード」をセットした場合は、電源をOFFにすると「ハガキ印刷モード」は解除されてしまいます。電源をOFFにしても解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキ印刷モードを設定してください。設定方法は「スペシャルメニューモード」（34ページ）をご覧ください。
- はがきはペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん排出してから、セットし直してください。
- 印刷中はペーパガイドを移動しないでください。正しく印刷されないことがあります。印刷終了後にペーパガイドを移動してください。

封筒のセットと吸入

封筒をセットする前に、「使用できる封筒の確認」（11ページ）、「封筒に関する注意」（11ページ）、「封筒に印刷するときの注意」（12ページ）をご覧ください。

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させる。**

連続紙のカット、一時退避についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

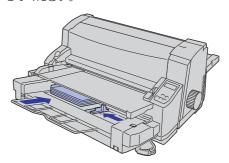
吸入/退避

❸ **ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ	゛								

❹ **封筒をホッパにセットし、右のペーパガイドを封筒に合わせる。**

封筒の印刷する面を上にし、フラップ部の先端をシートフィーダの左側板に合わせ、そのままフロントガイドに突き当たるまで挿入します。次に右のペーパガイドを封筒に合わせます。その際ペーパガイドの水平板は封筒の下に入り込ませてください。

❺［吸入/退避］スイッチを押す。

ホッパが自動的に持ち上がり、封筒が吸入されます。

印刷するデータをプリンタが受信すれば、封筒への印刷が開始されます。

吸入/退避

セ	レ	ク	ト						ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ	゛								

チェック

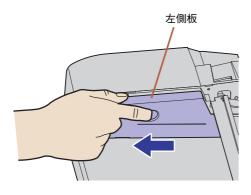
- 封筒はペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん排出してから、セットし直してください。
- 印刷中はペーパガイドを移動しないでください。正しく印刷されないことがあります。印刷終了後にペーパガイドを移動してください。

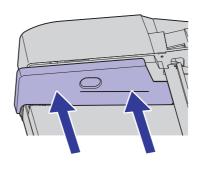
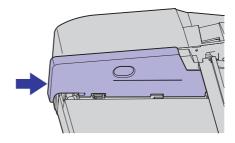
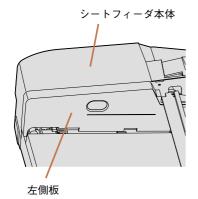
角形2号封筒のセット

角形2号封筒をセットする前には、左側板を次の手順で移動させます。＊1

＊1　フラップ（のりしろ部分）が32mmをこえる場合に行います。

❶ 左側板を引き出す。

左側板の穴に指をかけて矢印方向に引き出してロックを外します。

❷ 左側板を移動させる。

左側板を矢印方向に均等に押しこみます。

❸ 左側板を矢印方向にまっすぐに押しこむ。

下図は左側板が正しく押しこまれた状態です。

❹ **左側板を元に戻す場合には、逆の手順で操作する。**

角型2号封筒をセットする前に左側板が正しく押しこまれたことを確認してください。

用紙の排出

印刷が終了したカット紙は、スタッカまたはシートガイドに排出されます。

複写式用紙に印刷した場合は、プリンタの背面のスタッカに排出してください。シートガイド上に排出すると紙づまりなどを起こす原因となります。

スタッカに排出する

通常、シートフィーダから吸入したカット紙は、印刷が終了した後、自動的にプリンタ背面のスタッカ*[1]に排出されるので、何も設定する必要はありません。
スタッカには約100枚（坪量64.0g/m^2(連量55kg相当）の用紙の場合）スタックする（積み重ねる）ことができます。
あらかじめメモリスイッチ4-7（MSW4-7）をONにすると、ソフトウェアからシートガイドに排出させるコマンドを送っても常にスタッカに排出されます。（メモリスイッチの設定方法は、「スペシャルメニューモード」（34ページ）をご覧ください。

シートガイドに排出する

メモリスイッチ4-7（MSW4-7）をOFFにし、排出方向指定コマンドにより指定してください。ただしこの場合は、排出した用紙を取り除かないと次の用紙を吸入できません。

*[1] スタッカに一度にスタックできる用紙の最大量は、坪量64.0g/m2（連量55kg相当）の用紙の場合はA4カット紙約100枚までです。

シートフィーダと連続紙の切り替え印刷

シートフィーダを取り付けたままでも連続紙に印刷することができます。
次の手順で連続紙をセットして印刷を行ってください。

❶ **カット紙が吸入されている場合は、［排出/カット］スイッチを押して排出する。**

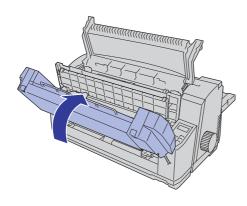
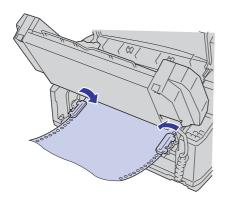
❷ **ディスプレイに “フロントトラクタフィーダ” または “リアトラクタフィーダ” と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

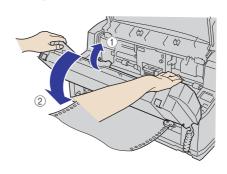
```
ヨウシ センタク
フロントトラクタフィーダ゛
```

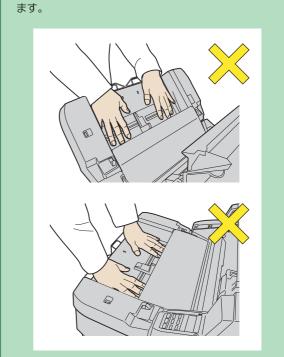
```
ヨウシ センタク
リアトラクタフィーダ゛
```

フロントトラクタフィーダに連続紙をセットしていないときは、次の手順でセットします。リアトラクタフィーダへの連続紙のセット方法は「リアトラクタフィーダへの連続紙のセットと吸入」（69ページ）をご覧ください。

① **トップカバーを開ける。**

② **シートガイドを上げる。**

③ **連続紙をセットする。**

④ **シートフィーダを下げる。**

シートフィーダを上に少し持ち上げ、元のとおりに下ろします。

チェック

シートフィーダを下ろす際は、ホッパ部を押しながら下ろさないでください。ホッパ部を押し下げると、シートフィーダ内部の部品を破損するおそれがあります。

⑤ **シートガイドを下げ、トップカバーを閉める。**

⑥［吸入/退避］スイッチを押す。

連続紙が吸入されれば用紙ランプが消灯し、印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になります。

これで連続紙に印刷できます。

吸入/退避

セ	レ	ク	ト						ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ	゛			

シートフィーダの取り外し

次の手順でシートフィーダを取り外します。

❶ **シートフィーダに用紙がセットされているときや、印刷終了後の連続紙が残っているときは、用紙を取り除く。**

シートフィーダから用紙を吸入しているときは、［排出/カット］スイッチを押して用紙を排出します。

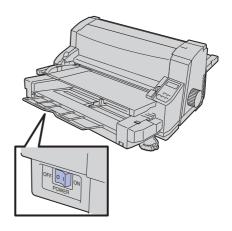
排出/カット

印刷終了後の連続紙が残っている場合は印刷されたページをカットし、［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させて取り除きます。

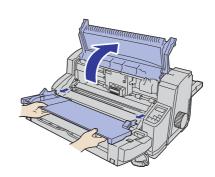
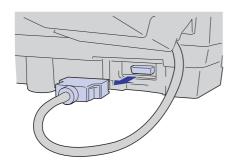
吸入/退避

連続紙のカット、一時退避についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

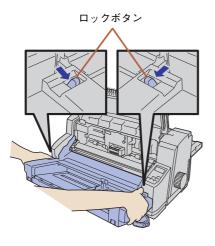
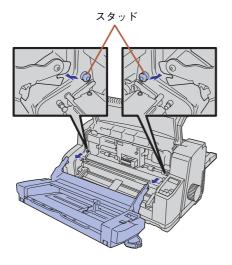
❷ **プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認する。**

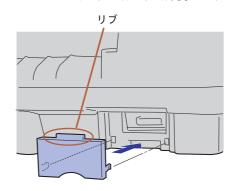
重要

プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り外すと故障の原因となることがありますので、必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてください。

❸ **トップカバーを開け、シートガイドを取り外す。**

シートガイドの両端を持ち、手前に引き抜きます。

❹ **シートフィーダのコネクタをプリンタのソケットから取り外す。**

❺ **シートフィーダを取り外す。**

左右にあるロックボタンを押しながらシートフィーダを少し持ち上げて手前に引き、スタッド（突起）からシートフィーダを取り外します。

❻ **コネクタカバーをプリンタに取り付る。**

コネクタカバーの上部リブを差し込み、左右のツメを取り付け穴に差し込みます。

これでシートフィーダの取り外しは完了です。

❼ **シートガイドを取り付け、トップカバーを閉める。**

シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整

シートフィーダ使用時の用紙吸入位置の微調整は以下の手順で行います。なお、シートガイドで設定した用紙吸入位置微調量は、シートフィーダでは無効のため、改めて設定し直してください。

> **チェック**
>
> - 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第1印刷行（文字下端）までの距離が0～36mmになる範囲です。
> - 吸入中の用紙があるときに微調モードで［▼］スイッチを押した場合、吸入中の用紙は排出されます。その後新しい用紙が吸入位置0.0mmで吸入されるので、続けて［▲］スイッチを押して微調整を行ってください。

❶［吸入/退避］スイッチを押す。

カット紙を吸入します。

吸入/退避

❷［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯し、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）になります。

印刷可

テ	゛	ィ	セ	レ	ク	ト			ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ	゛								

❸［微調モード］スイッチを押す。

ディスプレイには以下のように表示されます。

微調モード

キ	ュ	ウ	ニ	ュ	ウ	イ	チ		ヒ	゛	チ	ョ	ウ		
		X	X	.	X	m	m								＊

> **チェック**
>
> ディスプレイ下段、右端に表示される＊は、現在設定されている値であることを示します。

❹［▲］スイッチを押して、用紙吸入位置を微調整する。

［▲］スイッチを一回押すごとに約0.42mm（2/120インチ）順方向に送ります。

❺［微調モード］スイッチまたは［印刷可］スイッチを押す。

新しい吸入位置がプリンタに記憶されます。

印刷可

紙づまりのときは

用紙吸入時に用紙がつまった場合は、ディスプレイに“ヨウシツ゛マリ”と表示されます。
このようなときは、次の手順に従って処理してください。

ヨ	ウ	シ		ツ	゛		マ	リ							

❶ **プラテンノブを時計回りに回して、つまったカット紙を取り除く。**

シートフィーダ内で紙づまりした場合は、用紙を手前に引っ張り、シートフィーダから取り除いてください。

✔チェック

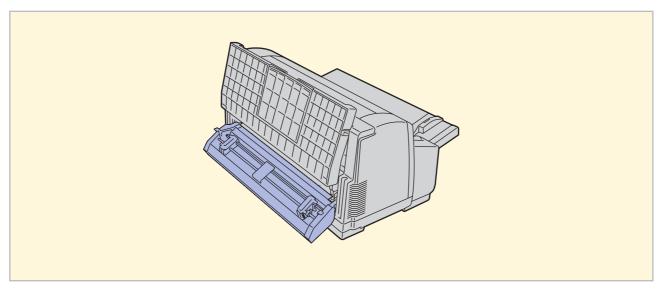
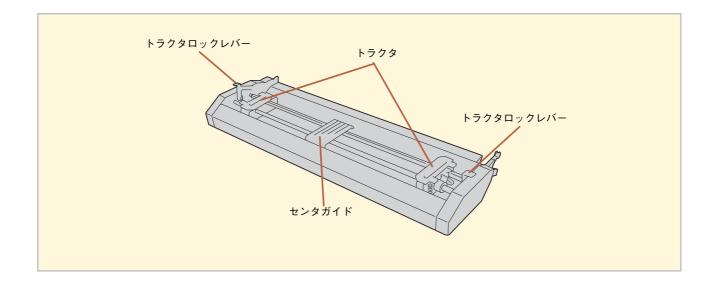
ラベル紙などの「粘着剤」が付着している用紙の場合は、用紙やちぎれた用紙片の除去に加えて、プリンタ内部に粘着剤が残っていないか確認し、残っていたら、きれいに取り除いてください。付着した粘着剤を取り除けない、または取り除いた箇所で紙づまりが発生する場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口までお問い合わせください。

❷ **［吸入/退避］スイッチを押す。**

用紙が吸入され、用紙ランプが消灯します。

吸入/退避

リアトラクタフィーダ

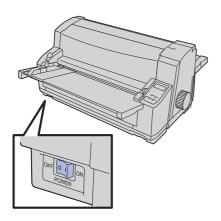
ここでは、PR-D700XA-03リアトラクタフィーダのプリンタへの取り付け・取り外しと、用紙のセット方法について説明します。
取り付ける前に、リアトラクタフィーダの各部の名称を確認してください。

プリンタにリアトラクタフィーダを取り付けた状態

リアトラクタフィーダの取り付け

リアトラクタフィーダは次の手順でプリンタの背面に取り付けます。

❶ **印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし、[吸入/退避] スイッチを押して連続紙を一時退避させるか、連続紙を取り除く。**

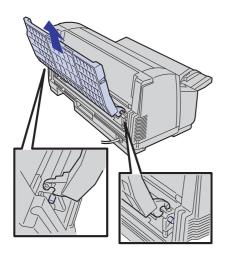
吸入/退避

シートガイドに用紙がセットされているときは、用紙を取り除いてください。

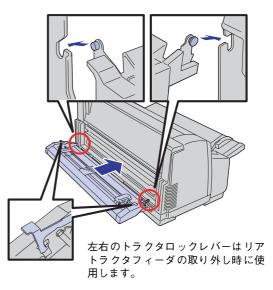
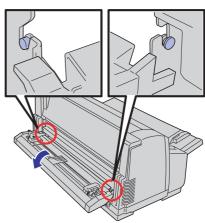
連続紙のカット、一時退避についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

チェック

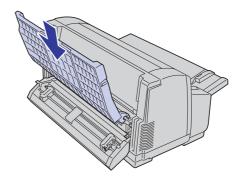
プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り付けると故障の原因となることがあります。OFFになっていることを確認してください。

❸ **スタッカを取り外す。**

❹ **リアトラクタフィーダを取り付ける。**

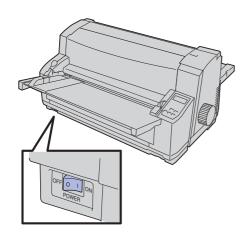
左右の突起をプリンタ内の切り欠きに入れ、下ろします。

左右のトラクタロックレバーはリアトラクタフィーダの取り外し時に使用します。

左右の突起をプリンタ内の切り欠きに入れ、ロックがかかるまで下ろします。

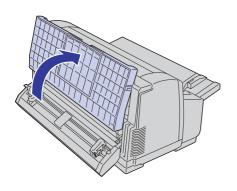
❺ **スタッカを取り付ける。**

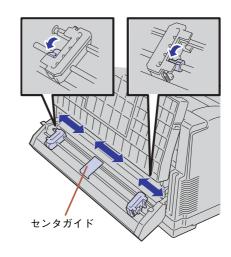
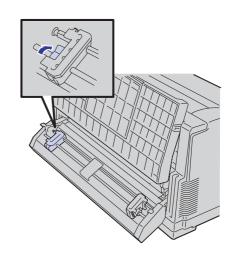
これでリアトラクタフィーダの取り付けは完了です。

リアトラクタフィーダへの連続紙のセットと吸入

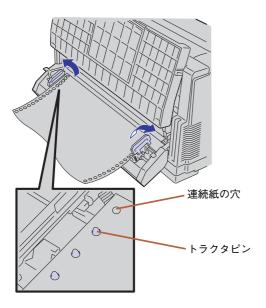
リアトラクタフィーダにセットできる連続紙は、本プリンタに添付のフロントトラクタフィーダにセットできる連続紙と同じです。詳しくはユーザーズマニュアルの「付録」をご覧ください。

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **ディスプレイの下段に“リアトラクタフィータ゛”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

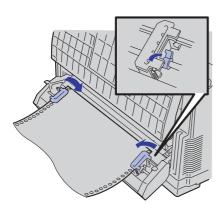
ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
リ	ア	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ	゛					

❸ **スタッカを上げる。**

❹ **左右のトラクタのロックレバーを手前に倒し、連続紙の幅に合わせる。**

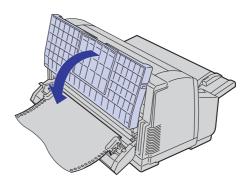
センタガイドは両トラクタの中央に位置するように移動させます。

❺ **左のトラクタのロックレバーを上げてロックする。**

❻ **左右のトラクタカバーを開け、連続紙を印刷する面を上にしてセットする。**

連続紙は、左右の穴とトラクタピンとの位置がずれないように注意して、トラクタピンにはめ込んでください。

チェック

連続紙の穴を破らないように注意してください。穴が破れたまま用紙をセットすると正しく給紙されないおそれがあります。

❼ **左右のトラクタカバーを閉めたら、右のトラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを上げてロックする。**

チェック

このとき連続紙の引き過ぎやたるみがないように注意してください。紙送りが正しく行われないおそれがあります。

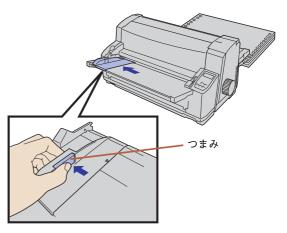
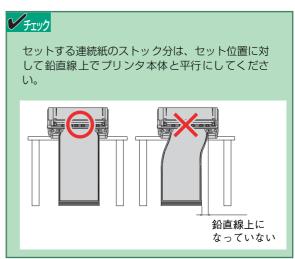
❽ **スタッカを下ろす。**

チェック

スタッカは用紙搬送のガイドも兼ねますので、必ず下ろした状態で使用してください。

❾ **ペーパガイドを左側へスライドさせる。**

ペーパガイドは図のようにつまみを押して移動させてください。

チェック

セットする連続紙のストック分は、セット位置に対して鉛直線上でプリンタ本体と平行にしてください。

❿ **［吸入/退避］スイッチを押す。**

連続紙が吸入されれば、用紙ランプが消灯して印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になります。

これで、リアトラクタフィーダへの連続紙のセット・吸入が完了しました。印刷するデータをプリンタが受信すれば、連続紙への印刷が開始されます。

吸入/退避

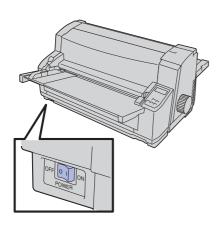
セ	レ	ク	ト						ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン
リ	ア	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ	゛					

フロントトラクタフィーダとリアトラクタフィーダの切り替え印刷

［用紙選択］スイッチを押して、ディスプレイに“フロントトラクタフィーダ”または“リアトラクタフィーダ”と表示させることで､プリンタに標準装備のフロントトラクタフィーダとオプションのリアトラクタフィーダを切り替えて印刷することができます。

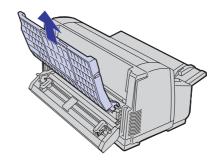
リアトラクタフィーダの取り外し

次の手順でリアトラクタフィーダを取り外します。

❶ **印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし､［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を取り除く。**

吸入/退避

❷ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

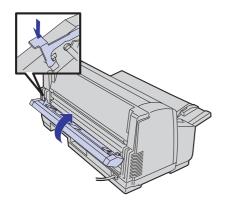
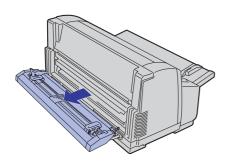
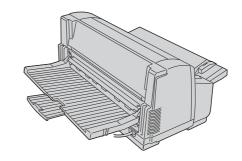
✔チェック

プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り外すと故障の原因となることがあります。OFFになっていることを確認してください。

❸ **スタッカを取り外す。**

❹ **リアトラクタフィーダを取り外す。**

リアトラクタフィーダの左右のトラクタロックレバーを押しながら持ち上げ、手前に移動します。

❺ **スタッカを取り付ける。**

付録
技術情報

ここでは、本プリンタの初期状態、文字コード、その他の技術情報について説明します。

初期状態

電源をONにしたとき、ソフトウェアリセット（ESC c1）、パラメータリセット（ESC c8）、強制リセットをしたとき、およびインタフェース信号INPUT PRIMEを受信したときの初期状態を次に示します。【　】は工場設定です。

<table>
<tr><th>項目</th><th>電源ON</th><th>強制リセット</th><th>ESC c1</th><th>INPUT PRIME</th><th>ESC c8</th></tr>
<tr><td>用紙長</td><td colspan="3">【66行（11インチ）】または設定値（パラメータ設定による）</td><td colspan="2">変化しない</td></tr>
<tr><td>ボトム領域</td><td colspan="3">なし</td><td colspan="2">変化しない</td></tr>
<tr><td>垂直タブセット位置</td><td colspan="3">チャンネル2：第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目
チャンネル3～6：なし</td><td colspan="2">変化しない</td></tr>
<tr><td>用紙行位置</td><td colspan="5">現在行を第1印刷行（T.O.F）位置とする</td></tr>
<tr><td>レフトマージン幅</td><td colspan="5">000</td></tr>
<tr><td>ライトマージン幅</td><td colspan="5">【136】または080（メモリスイッチ2-7による）</td></tr>
<tr><td>水平タブセット位置</td><td colspan="5">なし</td></tr>
<tr><td>行メモリ</td><td colspan="5">クリア</td></tr>
<tr><td>行メモリアドレス</td><td colspan="5">最左端相当位置</td></tr>
<tr><td>改行幅</td><td colspan="5">1/6インチ</td></tr>
<tr><td>キャラクタモード</td><td colspan="5">【カタカナモード（8ビットコード）】または英数モード（7ビットコード）（メモリスイッチ2-6による）</td></tr>
<tr><td>グラフィックモード</td><td colspan="5">【ネイティブモード】またはコピーモード（メモリスイッチ2-3による）</td></tr>
<tr><td>印刷モード</td><td colspan="5">【HDパイカ】またはHSパイカ（メモリスイッチ2-5による）</td></tr>
<tr><td>セレクト／ディセレクト</td><td colspan="3">セレクト
ただし用紙なし時はディセレクト</td><td>変化せず
ただし用紙なし時
はディセレクト</td><td>変化しない</td></tr>
<tr><td>印刷方向（文字）</td><td colspan="5">【両方向最短】または片方向（メモリスイッチ2-8による）</td></tr>
<tr><td>改行方向</td><td colspan="5">順方向改行</td></tr>
<tr><td>拡大印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>強調印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>ラインの指定</td><td colspan="5">アンダーライン</td></tr>
<tr><td>ラインの太さの指定</td><td colspan="5">細線</td></tr>
<tr><td>ライン印刷モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>外字登録</td><td colspan="4">未登録状態（クリア）</td><td>クリアしない</td></tr>
<tr><td>ダウンロード文字登録</td><td colspan="4">未登録状態（プリンタ内蔵文字印刷モード）</td><td>クリアしない</td></tr>
<tr><td>半角縦印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>半角組文字縦印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>漢字文字幅</td><td colspan="5">3/20インチ</td></tr>
<tr><td>漢字文字サイズ</td><td colspan="5">10.5ポイント</td></tr>
<tr><td>スクリプト文字</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>高速印刷</td><td colspan="4">【解除】または選択（メモリスイッチ4-5による）</td><td>変化しない</td></tr>
<tr><td>カラー</td><td colspan="5">黒</td></tr>
<tr><td>シートフィーダ</td><td colspan="4">全排出実行、用紙なし状態解除</td><td>第1印刷行
（T.O.F）位置で
は排出しない</td></tr>
<tr><td>ミシン目スキップ</td><td colspan="5">【スキップしない】またはスキップする（メモリスイッチ3-8による）</td></tr>
<tr><td>印刷方向（ドット列）</td><td colspan="5">片方向または【両方向】（メモリスイッチ2-8、4-4による））</td></tr>
<tr><td>漢字書体</td><td colspan="2">明朝体</td><td colspan="3">変化しない</td></tr>
<tr><td>ANK文字フォント</td><td colspan="4">【標準】、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B（パラメータ設定による）</td><td>変化しない</td></tr>
<tr><td>ハガキ印刷モード</td><td colspan="2">【解除】または選択（パラメータ設定による）</td><td colspan="3">変化しない</td></tr>
<tr><td>固定ドットスペース</td><td colspan="5">解除（0ドット）</td></tr>
</table>

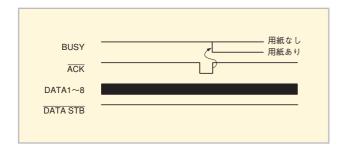
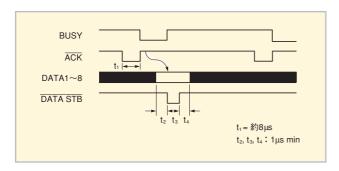
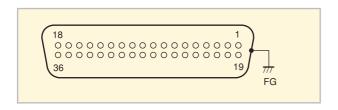
項目	電源ON	強制リセット	ESC c1	INPUT PRIME	ESC c8
倍率設定	解除				
縮小組文字縦印刷	解除				
文字修飾	解除				
縮小印刷	解除		変化しない		
漢字コード表	**【1978年】**、1983年、1990年（パラメータ設定による）				

インタフェース

インタフェース信号の機能

ピン番号	信号名	略称	方向 ﾌﾟﾘﾝﾀ⇔ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ	機能
1	データストローブ	DATA STB	←	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。LOWのままでは次の動作を開始しない。 DATA1～8 DATA STB BUSY 1μs min　1μs min　1μs min
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。パルス幅は最小3μsとする。
10	アクノレッジ	ACK	→	受信したデータをプリンタ内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATASTB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約8μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	→	プリンタがデータ受信不可能（BUSY）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ● ディセレクト中のとき。 ● INPUT PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつINPUT PRIME信号がHIGHになるまでの間。 ● データを受信してから、プリンタ内へ取り込み完了するまでの間。
12	ペーパーエンド	PE	→	用紙の有無を示す。
13	セレクト	SELECT	→	プリンタがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。
14	オートフィード	AUTOFEED	←	IEEE1284準拠モードの場合、逆方向通信の時使用する。
15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	→	プリンタが電源投入状態であることを示す。
19～30	TWISTED PAIRGND	—	—	(信号グランドに接続されている。)
31	インプットプライム	INPUT PRIME	←	この信号がLOWになるとプリンタは初期状態になる。定常状態はHIGHである。
32	フォルト	FAULT	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 ● ディセレクト中のとき。 ● プリンタがエラー状態のとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34～35	—	—	—	将来の拡張用
36	セレクトイン	SELECT IN	←	IEEE1284準拠モードにする信号

タイムチャート

● 電源ON時

● データ受信時

コネクタピン配置

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DATA STB	11	BUSY	21*	TWISTED PAIR GND	31	INPUT PRIME
2	DATA 1	12	PE	22*	TWISTED PAIR GND	32	FAULT
3	DATA 2	13	SELECT	23*	TWISTED PAIR GND	33*	SG
4	DATA 3	14	AUTOFEED	24*	TWISTED PAIR GND	34	（将来の拡張用）
5	DATA 4	15	（将来の拡張用）	25*	TWISTED PAIR GND	35	（将来の拡張用）
6	DATA 5	16*	SG	26*	TWISTED PAIR GND	36	SELECT IN
7	DATA 6	17	FG	27*	TWISTED PAIR GND		
8	DATA 7	18	DCN	28*	TWISTED PAIR GND		
9	DATA 8	19*	TWISTED PAIR GND	29*	TWISTED PAIR GND		
10	ACK	20*	TWISTED PAIR GND	30*	TWISTED PAIR GND		

＊　これらのピン端子はプリンタ内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA1～8 INPUT PRIME	+5V 4.7kΩ 10kΩ 470pF LS04または LS14相当品

信号名	回路形式
DATA STB	+5V 4.7KΩ 2.4KΩ 470pF LS04または LS14相当品

出力回路

信号名	回路形式
ACK FAULT PE SELECT DCN	LS244相当品 470pF

信号名	回路形式
BUSY	100Ω LS244 相当品 470pF

文字コード表

本プリンタは、8ビットコード、7ビットコードのうちの1つと漢字コードを使用することができます。
8ビットコードと7ビットコードの切り替えはメモリスイッチ2-6によって行います。工場設定は8ビットコードです。
また、メモリースイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は各国特殊文字の入らないコードです。
漢字コードは、半角文字、JIS第1水準の漢字や記号など、およびJIS第2水準の漢字を印刷するのに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります（JIS 1978年版準拠）。

<table>
<tr><td rowspan="5">文字種
印刷モード</td><td colspan="3">ANK</td><td rowspan="3">CG
グラフィック
56種</td><td>ANK</td><td rowspan="5">漢字*
7014種</td></tr>
<tr><td>英数字・記号
(SPを含む)
96種</td><td>カタカナ・記号
63種</td><td>ひらがな
55種</td><td rowspan="3">各国文字
15種</td></tr>
<tr><td colspan="3">214種</td></tr>
<tr><td colspan="4">270種</td></tr>
<tr><td colspan="5">285種</td></tr>
<tr><td>NHSパイカモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>HDパイカモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>コンデンスモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>エリートモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>プロポーショナルモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>漢字モード</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td></tr>
</table>

○：印刷可能

＊　漢字の詳細：

JIS第1水準漢字	2965種
JIS第2水準漢字	3384種
記号（SPを含む）	108種
英数字	62種
ひらがな	83種
カタカナ	86種
ギリシャ文字	48種
ロシア文字	66種
半角文字（SPを含む）	212種

計　7014種

1バイト系コード表

8ビットコード表

8ビットコード表　―カタカナモード―

				b8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
				b7	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
				b6	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
				b5	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	╳
0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	
1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	
1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	
1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	
1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	
1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	
1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

8ビットコード表　―ひらがなモード―

				b8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
				b7	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
				b6	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
				b5	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	▁	┴		ー	た	み	═	╳
0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	あ	ち	む	╞	円
0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	い	つ	め	╪	年
0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▄	├	」	う	て	も	╡	月
0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▅	▔	、	え	と	や	◢	日
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	お	な	ゆ	◣	時
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	を	か	に	よ	◥	分
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ぃ	く	ね	り	♠	
1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ぅ	け	の	る	♥	
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ぇ	こ	は	れ	♦	
1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	▌	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	
1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	▋	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	
1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11	▊	╮	ゅ	す	へ	ん	○	
1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	▉	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	
1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	っ	そ	ま	゜	╲	

7ビットコード表

b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7
0または1																
	0								0	0	0	0	1	1	1	1
		0							0	0	1	1	0	0	1	1
			0						0	1	0	1	0	1	0	1
				0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p
				0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q
				0	0	1	0	2		DC2	"	2	B	R	b	r
				0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s
				0	1	0	0	4	EOT	DC4	注2	4	D	T	d	t
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v
				0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w
				1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x
				1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
				1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z
				1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9
				1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10
				1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11
				1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12
				1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o	

注13（2〜5列）

<注1〜注12>　各国特殊文字
（メモリースイッチ1-1〜1-3で切り替えます）。

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

<注13>　2〜5列はキャラクタモードによって以下のように切り替わります。

行＼列	CGグラフィックモード				ひらがなモード				カタカナモード			
	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5
0	▁	┴	═	╳		ー	た	み		ー	タ	ミ
1	▂	┬	╞	円	。	あ	ち	む	。	ア	チ	ム
2	▃	┤	╪	年	「	い	つ	め	「	イ	ツ	メ
3	▄	├	╡	月	」	う	て	も	」	ウ	テ	モ
4	▅	▔	◢	日	、	え	と	や	、	エ	ト	ヤ
5	▆	─	◣	時	・	お	な	ゆ	・	オ	ナ	ユ
6	▇	│	◥	分	を	か	に	よ	ヲ	カ	ニ	ヨ
7	█	▕	◤	秒	ぁ	き	ぬ	ら	ァ	キ	ヌ	ラ
8	▏	┌	♠		ぃ	く	ね	り	ィ	ク	ネ	リ
9	▎	┐	♥		ぅ	け	の	る	ゥ	ケ	ノ	ル
A	▍	└	♦		ぇ	こ	は	れ	ェ	コ	ハ	レ
B	▌	┘	♣		ぉ	さ	ひ	ろ	ォ	サ	ヒ	ロ
C	▋	╭	●		ゃ	し	ふ	わ	ャ	シ	フ	ワ
D	▊	╮	○		ゅ	す	へ	ん	ュ	ス	ヘ	ン
E	▉	╰	╱		ょ	せ	ほ	゛	ョ	セ	ホ	゛
F	┼	╯	╲		っ	そ	ま	゜	ッ	ソ	マ	゜

漢字コード表（2バイト系コード表）

チェック

本プリンタでは,従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表にも対応しています。それらをコンピュータから切り替えるときは、拡張制御コードをご使用ください。詳しくは、「FS 05F　漢字コード表の選択」（94ページ）をご覧ください。

次の漢字コード表（半角文字、全角文字―JIS第1水準―、全角文字―JIS第2水準―）は、JIS1978年版に準拠しています。

漢字コード表　―半角文字―

行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
00B0	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
00C0	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
00D0	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	ﾞ	ﾟ

＜注＞　0列、0030行の「0」の書体はメモリスイッチ3-7により「 Ø 」に変更できます。

漢字コード表　―全角文字（JIS第1水準）―

第1バイト＼第2バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
21		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓																															
23																０	１	２	３	４	５	６	７	８	９								Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν
27	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я												
28																																													
29																																													
2A																																													
2B																																													
2C																																													
2D																																													
2E																																													
2F																																													
30	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	殻	獲
34	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰
36	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蘂	縞	舎	写	射
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠
42	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗
46	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩
49	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕
4C	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様
4E	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵
4F	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫

漢字コード表　—全角文字（JIS第1水準）—（続き）

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ							ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ				
の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω																																						
			а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
藁	蕨	椀	湾	碗	腕																																											

漢字コード表　―全角文字（JIS第2水準）―

第1バイト＼第2バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
50	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏
51	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤
52	辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖
53	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒
55	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪
56	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑
58	悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷
59	戔	戞	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈
5A	擄	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃
5B	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩
5C	梠	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨
5D	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕
5E	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪
5F	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝
60	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴
61	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝
62	癩	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛
63	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷
64	筐	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍
65	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲
66	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆
67	脩	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁
68	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢
69	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱
6A	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢
6B	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬
6C	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤
6D	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙
6E	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉
6F	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞
70	陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈
71	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘
72	髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺
73	鵄	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝
74																																													

漢字コード表　―全角文字（JIS第2水準）―（続き）

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
嶋	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
殯	殤	殪	殫	殮	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
緡	緤	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
衫	袁	衾	衰	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
靂	靆	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
驁	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠

テスト印刷サンプル

（30%縮小）

←2バイト系　明朝体　全角文字（JIS第1水準）

←2バイト系　明朝体　全角文字（JIS第2水準）

←2バイト系　明朝体　半角文字
←1バイト系　標準　HDパイカ文字
←1バイト系　標準　NHSパイカ文字
←1バイト系　標準　コンデンス文字
←1バイト系　標準　エリート文字
←1バイト系　標準　プロポーショナル文字
←1バイト系　イタリック　HDパイカ文字
←1バイト系　イタリック　NHSパイカ文字
←1バイト系　イタリック　エリート文字
←1バイト系　イタリック　HDパイカ文字
←1バイト系　イタリック　プロポーショナル文字字
←1バイト系　クーリエ　HDパイカ文字
←1バイト系　クーリエ　NHSパイカ文字
←1バイト系　クーリエ　コンデンス文字
←1バイト系　クーリエ　エリート文字
←1バイト系　クーリエ　プロポーショナル文字
←1バイト系　ゴシック　HDパイカ文字
←1バイト系　ゴシック　NHSパイカ文字
←1バイト系　ゴシック　コンデンス文字
←1バイト系　ゴシック　エリート文字
←1バイト系　ゴシック　プロポーショナル文字

（以下省略）

制御コード一覧

以下の制御コード表の詳細については、「日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル」を参照してください。

基本制御コード表

○：有

分類	コード	16新数	機能概要	機能の有無
印刷	CR	0D	印刷し復帰	○
改行	LF	0A	1行改行	○
水平タブの実行	HT	09	水平タブ位置へ移動	○
垂直タブの実行	VT	0B	垂直タブ位置へ移動	○
改ページ	FF	0C	改ページ	○
倍角文字コード および キャラクタモード	SO	0E	倍角文字モード設定（8ビットコード）	○
			カタカナモード設定（7ビットコード）	○
	SI	0F	倍角文字モード解除（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	○
	DC2	12	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード設定（7ビットコード）	○
	DC4	14	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード解除（7ビットコード）	○
キャンセル	CAN	18	バッファの印刷データをキャンセル	○
セレクト／ディセレクト	DC1	11	セレクト状態にする	○
	DC3	13	ディセレクト状態にする	○
VFUの設定	GS	1D	VFUの設定開始	○
	RS	1E	VFUの設定終了	○
n行改行	US	1F	0～72行改行	○
VFUの実行			VFUの実行	○
外字の登録終了	EOT	04	外字の登録終了	○
同期コード*	EM	19	印刷動作が終了するまでデータを受け付けない	○

＊マークの付いているコードは201PLリファレンスマニュアルに記載されていないコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」（93ページ）をご覧ください。

拡張制御コード表

○：有、×：無

分類	コード	16新数	機能概要	機能の有無
印刷モード	ESC N	1B 4E	HSパイカモード設定	○
	ESC H	1B 48	HDパイカモード設定	
	ESC Q	1B 51	コンデンスモード設定	
	ESC E	1B 45	エリートモード設定	
	ESC P	1B 50	プロポーショナルモード設定	
	ESC K	1B 4B	漢字（横印刷）モード設定	
	ESC t	1B 74	漢字（縦印刷）モード設定	
HSパイカモード	ESC n 0	1B 6E 30	NHSパイカモード設定	×
	ESC n 1	1B 6E 31	SHSパイカモード設定	
キャラクタモード	ESC $	1B 24	カタカナモード設定（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	
	ESC &	1B 26	ひらがなモード設定（8ビットコード）	
			ひらがなモード設定（7ビットコード）	
	ESC #	1B 23	無効（8ビットコード）	
			CGグラフィックモード設定（7ビットコード）	
スクリプト文字モード	ESC s 1	1B 73 31	スーパスクリプト文字モード設定	○
	ESC s 2	1B 73 32	サブスクリプト文字モード設定	
	ESC s 0	1B 73 30	スクリプト文字モード解除	
外字	ESC +	1B 2B	外字（24 x 24ドット）の登録	○
	ESC ＊	1B 2A	外字（16 x 16ドット）の登録	○
ダウンロード文字	ESC ℓ	1B 6C	ダウンロード文字の登録	○
	ESC ℓ+	1B 6C 2B	ダウンロード文字印刷	○
	ESC ℓ-	1B 6C 2D	プリンタ内蔵文字印刷	○
	ESC ℓ0	1B 6C 30	ダウンロード文字クリア	○
文字の拡大	ESC e	1B 65	縦横拡大率指定	○
キャラクタリピート	ESC R	1B 52	キャラクタリピート	○
強調印刷モード	ESC !	1B 21	強調印刷モード設定	○
	ESC "	1B 22	強調印刷モード解除	
アンダライン／オーバライン	ESC X	1B 58	ライン印刷モード設定	○
	ESC Y	1B 59	ライン印刷モード解除	○
	ESC _	1B 5F	ラインの指定	○
	FS 0 4 L	1C 30 34 4C	ラインの太さの指定	○
高速印刷モード	ESC d 0	1B 64 30	高速印刷モード設定	○
	ESC d 1	1B 64 31	高速印刷モード解除	
ドットスペース	ESC [00]H	1B 00	0ドットスペース	○
	ESC [01]H	1B 01	1ドットスペース	
	ESC [02]H	1B 02	2ドットスペース	
	ESC [03]H	1B 03	3ドットスペース	
	ESC [04]H	1B 04	4ドットスペース	
	ESC [05]H	1B 05	5ドットスペース	
	ESC [06]H	1B 06	6ドットスペース	
	ESC [07]H	1B 07	7ドットスペース	
	ESC [08]H	1B 08	8ドットスペース	
	FS w	1C 77	固定ドットスペース	
ドット列印刷モード	ESC S	1B 53	8ビットドット列対応グラフィック印刷モード	○
	ESC I	1B 49	16ビットドット列対応グラフィック印刷モード	
	ESC J	1B 4A	24ビットドット列対応グラフィック印刷モード	

分類	コード	16新数	機能概要	機能の有無
ドット列印刷モード	ESC V	1B 56	8ビットドット列リピートモード	○
	ESC W	1B 57	16ビットドット列リピートモード	
	ESC U	1B 55	24ビットドット列リピートモード	
	ESC F	1B 46	ドットアドレッシング	
ドット対応グラフィックドット数	ESC D	1B 44	コピーモード設定	○
	ESC M	1B 4D	ネイティブモード設定	
印刷方向	ESC >	1B 3E	片方向印刷モード設定	○
	ESC]	1B 5D	両方向印刷モード設定	
水平タブ	ESC (	1B 28	水平タブセット	○
	ESC)	1B 29	水平タブ部分クリア	
	ESC 2	1B 32	水平タブオールクリア	
簡易VFU	ESC v	1B 76	VFUのセット	○
マージン	ESC L	1B 4C	レフトマージン設定	○
	ESC /	1B 2F	ライトマージン設定	
漢字半角文字の縦印刷モード	ESC h 1	1B 68 31	漢字半角文字の縦印刷モード設定	○
	ESC h 0	1B 68 30	漢字半角文字の縦印刷モード解除	
	ESC q	1B 71	漢字半角の組文字縦印刷モード設定	
倍率設定と縮小文字の組文字印刷モード	FS m	1C 6D	倍率設定	○
	FS P	1C 50	縮小文字の組文字印刷モード設定	
漢字文字幅と漢字文字サイズ	FS A	1C 41	漢字文字幅3/20インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	○
	FS B	1C 42	漢字文字幅1/5インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	
	FS C	1C 43	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント	
	FS D	1C 44	漢字文字幅2/15インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント相当	
	FS F	1C 46	漢字文字幅1/10インチ、漢字文字サイズ7ポイント相当	
	FS G	1C 47	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ12ポイント相当	
漢字文字幅	FS p	1C 70	漢字文字幅の切り替え	○
漢字文字サイズ	FS 0 4 S	1C 30 34 53	漢字文字サイズの切り替え	○
改行幅	ESC A	1B 41	1/6インチ改行モード設定	○
	ESC B	1B 42	1/8インチ改行モード設定	
	ESC T	1B 54	n/120インチ改行モード設定	
改行方向	ESC f	1B 66	順方向改行モード設定	○
	ESC r	1B 72	逆方向改行モード設定	
シートフィーダ制御	ESC a	1B 61	排出後吸入（シートフィーダ装着時）	○
	ESC b	1B 62	排出（シートフィーダ装着時）	
	FS f	1C 66	ホッパの切り替え（ダブルビンシートフィーダ装着時）	×
ANK文字フォント	ESC O	1B 4F	ANK文字フォントの切り替え	○
	FS 0 6 F	1C 30 36 46	文字フォントの選択	
漢字フォント	ESC O	1B 4F	漢字フォントの切り替え	○
カラー	ESC C	1B 43	カラーの切り替え	○
文字修飾	FS c	1C 63	文字修飾の設定または解除	○
ソフトウェアリセット	ESC c 1	1B 63 31	初期状態にリセット	○
縮小設定*	FS 0 5 f	1C 30 35 66	縮小印刷の設定	○
書体選択*	FS 0 6 F	1C 30 36 46	書体の選択	○
パラメータリセット*	ESC c 8	1B 63 38	初期状態にリセット	○
漢字コード表の選択*	FS 0 5 F	1C 30 35 46	漢字コード表を選択する	○
カット紙の排出方向モードの切り替え*	FS 0 2 ER FS 0 2 EF	1C 30 32 45 52 1C 30 32 45 46	カット紙手前側排出モードの設定 カット紙奥側排出モードの設定	○
用紙の選択*	ESC m 1 ESC m 2 ESC m 3	1B 6D 31 1B 6D 32 1B 6D 33	連続紙（前）用紙モードの設定 カット紙用紙モードの設定 連続紙（後）用紙モードの設定	○
バーコード印刷*	FS '	1C 60	バーコードの印刷	○

＊マークの付いているコードは201PLリファレンスマニュアルに記載されていないコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」（93ページ）をご覧ください。

次の倍率に関する制御コードはプリンタに依存します。

(1)　ESC e
(2)　FS m

本プリンタの場合は、以下のようになります。

(1)　ESC e（縦横拡大率指定）
コマンド仕様
ESC e　n1　n2
n1:縦拡大率
n2:横拡大率
n1、n2共に1、2、3、4、6、8を設定可能

(2)　FS m（倍率指定）
コマンド仕様
FS m　n1/n2、n3/n4、P1.
n1/n2:縦倍率
n3/n4:横倍率
下表の設定となります。

		横倍率　n3/n4								
		1/2	1/1	2/1	3/1	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1
縦倍率n1/n2	1/2	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	1/1	○	○	○	○	○	×	○	×	○
	2/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	3/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	4/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	5/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	6/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	7/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	8/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○

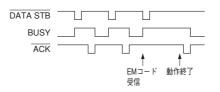
新制御コードのコマンド仕様

201PLリファレンスマニュアルに記載されていない制御コードにて、本プリンタで対応している制御コードについて説明します。

EM　同期コード

	EM
16進	19
10進	25

同期動作を行います。

- 同期コードは印刷開始コードの直後に入れてください。
- 同期コードを受信すると、受信バッファが空になり、印刷および改行などの機械的動作が終了するまで次のデータを受け付けません。
- 同期データ受信後、すべての動作終了までBUSY信号をHIGHに保ちます。すべての動作終了後、BUSY信号をLOWにしてACK信号を出力します。
- 動作例：印刷＋印刷開始コード＋同期コード

FS 05f　縮小設定

	FS	0	5	f	n_1	n_2	n_3	p_1
16進	1C	30	35	66	n_1	n_2	n_3	p_1
10進	28	48	53	102	n_1	n_2	n_3	p_1

縮小印刷を設定します。
n_1とn_2とn_3は縮小率を表し、組み合わせは次の中から選択します。

1 0 0 …縮小率印刷解除
0 8 0 …4/5縮小印刷
0 6 7 …2/3縮小印刷

p_1は縮小基準位置を表します。設定は次のとおりです。

L …左端基準

- すべての文字コードに対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印刷します。
- 縮小印刷は、操作パネルを使っても設定できます。詳しい操作は「メニューモード」(23ページ)を参照してください。
- 縮小印刷は受信したデータを2/3または4/5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です
- プリンタがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- ハガキ印刷モードが選択されているとき、またはメモリスイッチの切り替えにより1行の文字数が80桁になっているときは、縮小印刷はできません。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また文字によっては見えにくくなるものがあります。

FS 06F　書体選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

使用する漢字フォントを直接指定します。

n_1は“2”を指定します。
n_{21}とn_{22}とn_{23}の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 0 …明朝体
2 0 0 …ゴシック体
8 5 1 …詳細は「カスタマバーコードを印刷する」(102ページ) を参照してください。
C L R …詳細は「カスタマバーコードを印刷する」(102ページ) を参照してください。

ESC c8　パラメータリセット

	ESC	c	8
16進	1B	63	38
10進	27	99	56

各種パラメータをリセットします。

リセットされる内容については、「初期状態」(74ページ) をご覧ください。

FS 05F　漢字コード表の選択

	FS	0	5	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}
16進	1C	30	35	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}
10進	28	48	53	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}

漢字コード表を選択します。

n_1は“2”を指定します。
n_{21}とn_{22}の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 …JIS 1978年版（JIS C6226-1978）
0 1 …JIS 1983年版（JIS X0208-1983）
0 2 …JIS 1990年版（JIS X0208-1990）

- 本プリンタでは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表に対応しています。漢字コード表をコンピュータから切り替えるときは、この制御コードを使用してください。
- 本プリンタで印刷される文字は、基本的に上記 JIS に準拠していますが、デザイン処理などの都合により、多少字形の異なるものがあります。
- コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータのディスプレイと印刷結果の文字とが異なる場合があります。

FS 02 ER　　カット紙手前側排出モードの設定

	FS	0	2	E	R
16進	1C	30	32	45	52
10進	28	48	50	69	82

カット紙を手前側（シートガイド）へ排出します。

FS 02 EF　　カット紙奥側排出モードの設定

	FS	0	2	E	F
16進	1C	30	32	45	46
10進	28	48	50	69	70

カット紙を奥側（スタッカ）へ排出します。

ESC m 1　　フロントトラクタフィーダモードの設定

	ESC	m	1
16進	1B	6D	31
10進	27	109	49

給紙方法をフロントトラクタフィーダにします。

- ディスプレイに“フロントトラクタフィーダ”と表示されます。
- 給紙方法がシートガイドまたはシートフィーダになっているときは用紙の排出を行い、リアトラクタフィーダになっているときはリアトラクタフィーダの用紙を退避します。

ESC m 2　　カット紙用紙モードの設定

	ESC	m	2
16進	1B	6D	32
10進	27	109	50

印刷する用紙をカット紙にします。

- シートフィーダが装着されているときは、ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されます。
- シートフィーダが装着されていないときは、ディスプレイに“シートガイド”と表示されます。
- 給紙方法がフロントトラクタフィーダまたはリアトラクタフィーダになっているときは、フロントトラクタフィーダまたはリアトラクタフィーダの用紙を退避します。

ESC m 3　リアトラクタフィーダモードの設定

	ESC	m	3
16進	1B	6D	33
10進	27	109	51

給紙方法をリアトラクタフィーダにします。

- ディスプレイに“リアトラクタフィーダ”と表示されます。
- 給紙方法がシートガイトまたはシートフィーダになっているときは用紙の排出を行い、フロントトラクタフィーダになっているときはフロントトラクタフィーダの用紙を退避します。

特殊文字の印刷

本プリンタでは、「バーコード」と「OCR-B相当フォント」の印刷ができます。印刷するには、それぞれの制御コードを送ります。ここではプリンタ内部のフォントを使用する場合について説明しています。

バーコードを印刷する

- 印刷範囲内であれば、1行にいくつでもバーコードを印刷することができます。ただし、1つのバーコードが次の行にまたがる場合は、そのバーコードは印刷されずにその部分のデータが無効となります。
- 本プリンタで印刷したバーコードは、ドットの組み合わせで印刷するため、本来の規格と多少差異が生じます。したがってバーコードの読み取りは、十分評価を行ってから使用してください。
- インクが薄くなったインクリボンで印刷したバーコードは、読み取りができないことがあります。バーコードを印刷するときはなるべく新しいインクリボンを使用してください。
- バーコードと文字を同一行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。したがってバーコード印刷の制御コードを分解し、改行幅の指定が必要になります。
- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の縦の長さの方が大きい場合、バーコードの下端と下部に印刷される文字が離れることがあります（101ページ参照）。
- JANはJIS B 9550に準拠していますが、レフト／ライトガイドバー、センタバーは下方へ拡大できません。
- 印刷するバーコードの左右には、読み取り用の空白エリアが必要になります。水平タブ（HT）などを使用してください。
- バーコード／カスタマバーコードを印刷するときは、坪量81.4g/m^2（連量70kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。

制御コード

FS'　　バーコード印刷

	FS	`	n_{11}	n_{12}	,	n_2	,	n_3	,	n_{41}	n_{42}	,
16進	1C	60	n_{11}	n_{12}	2C	n_2	2C	n_3	2C	n_{41}	n_{42}	2C
10進	28	96	n_{11}	n_{12}	44	n_2	44	n_3	44	n_{41}	n_{42}	44

n_{51}	n_{52}	n_{53}	,	n_{61}	n_{62}	.
n_{51}	n_{52}	n_{53}	2C	n_{61}	n_{62}	2E
n_{51}	n_{52}	n_{53}	44	n_{61}	n_{62}	46

バーコードを印刷します。

n11、n12は2桁の10進数を指定します。

0 1 …NW-7（スタート／ストップキャラクタ指定）
0 2 …NW-7
0 3 …JAN標準
…JAN短縮
0 4 …CODE 39
0 5 …INDUSTRIAL 2 OF 5
0 6 …INTERLEAVED 2 OF 5

n2は1桁の10進数で、0、1、2のいずれかを指定します。

0 …ヒューマンリーダブルエリアの印刷なし
1 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの下部に印刷する
2 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの上部に印刷する

n3は2、3、4のいずれかのモジュール幅を1桁の10進数で指定します。

n41、n42は2桁の10進数で30を指定します。

3 0 …3:1（ワイド：ナロー＝3:1）

n51、n52、n53は0～9までの数字で、バーコードの縦の長さ（n/160インチ）を3桁の10進数で指定します。

n61、n62は0～9までの数字で、バーコードの桁数を2桁の10進数で指定します。

- バーコードを印刷するには、この制御コードに引き続き、n61、n62で指定した桁数分のバーコードデータを送ります。
- n11、n12が01であるときは、NW-7のスタート／ストップキャラクタの指定になります。このとき、n2～n5は省略し、n6には2を指定します。この制御コードに引き続きスタートキャラクタとストップキャラクタを送ります。
- スタート／ストップキャラクタのディフォルト値はともに“a”とします。
- JAN標準（13桁）と短縮（8桁）の区別は、n61、n62に指定されたデータの桁数によって行います。
- ヒューマンリーダブルエリアは、バーコードの下部、または上部に OCR-B 文字にて指定されたデータキャラクタを印刷します。
- モジュール幅とは、バー 1本の印刷ドット数を意味します。
- INTERLEAVED 2 OF 5のデータ桁数は、偶数で指定してください。
- バーコードの縦の長さ（n/160インチ）のnの範囲は、1≦n≦999です。ただしn=0が指定された場合は、現在設定されている改行幅がバーコードの縦の長さになります。したがって、改行幅の切り替え機能と組み合わせることによって、最小0.212mm（1/120インチ）単位での設定が可能となります。ただし、実際の印刷はドットピッチで行うため、0.159mm（1/160インチ）単位で変換されます。

バーコードの概要

バーコードに関する概要を説明します。

バーコードの種類

名称	機能概要		桁数
NW-7（コーダバー）	データ	数字　0~9（10個）*1 記号　—$：／.＋（6個）	可変（34）
	スタート、ストップ	abcdetn＊ABCDETN（15個）	
JAN標準	データ	数字　0~9（10個）	12+CD*2（13）
	レフトガードバー、センタバー、ライトガードバー		
JAN短縮	同上		7+CD（8））
Code 39	データ	数字　0~9（10個） 英字　A~Z（26個） 記号　—$／.＋%SP（7個）	可変（34）
	スタート、ストップ	＊	
Industrial 2 OF 5	データ	数字　0~9（10個）	可変（34）
	スタート、ストップ		
Interleaved 2 OF 5	データ	数字　0~9（10個）	可変（34） （ただし偶数のみ）
	スタート、ストップ		

＊1　桁数の（　）内は最大桁数を表します。

＊2　CD とは、「チェックディジット」のことです。

バーコード指令の概要

バーコードは次の表のとおり、6つのパラメータで形成され、それぞれの指令により各種のバーコードが印刷できます。

単位：ドット

パラメータ	概要
n_1	バーコードの種類を指定する。
n_2	ヒューマンリーダブルエリアの有無を指定する。
n_3	バーコードのモジュール幅をドット数で指定する。
n_4	バーコードのワイドバーとナローバーの横の長さの比を指定する。
n_5	バーコードの縦の長さをドット数（n/160インチ）で指定する。
n_6	バーコードデータの桁数を指定する。チェックディジットは本プリンタでは自動付加しないためコンピュータから出力する。

バーコードの横の長さ

各バーコード種別によるバーコードの横の長さの算出は次のとおりです。

単位：ドット

種別	スタートバー	ストップバー	センタバー	データバー	備考
NW-7	14	13	—	14/12	0〜9—$は12ドット ：／.＋は14ドット
JAN標準	3	3	5	7	合計95ドット
JAN短縮	3	3	5	7	合計67ドット
Code 39	16	15	—	16	—
Industrial 2 OF 5	10	9	—	14	—
Interleaved 2 OF 5	4	5	—	18	データキャラクタ2桁で1個のデータバーとする

ただし、表はモジュール幅が1ドットの場合であり、実際のモジュール幅は「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせて求めることができます。JANの場合は、合計ドット数に「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせ求めることができます。

例：　NW-7（モジュール幅：3、桁数：6）

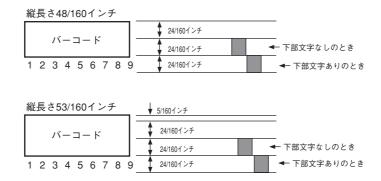
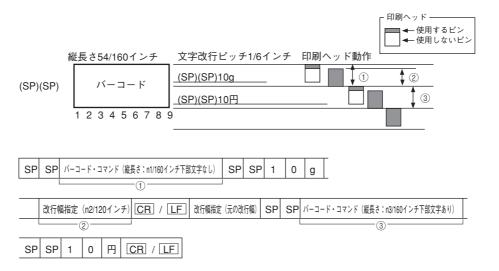
モジュール幅　スタート　データ　ストップ　　　インチ・ミリ概算（固定）　印刷ドット密度（固定）

3　x（14　+（12x6）　+　13）＝297　→　297 x 25.4　÷　160≒ 47mm

バーコード印刷時は、「上記で求めた長さ＋余白の長さ」が印刷範囲を超えないように注意してください。

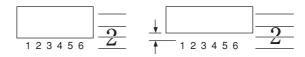
バーコード印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意

- 印刷開始位置は、次に印刷する文字の左上をバーコードの左上として印刷します。

- バーコード印刷は、印刷ヘッドの24ピン（24/160インチ）を基準に印刷処理を行うため、改行ピッチとの間にギャップがあるので、印刷終了時の印刷ヘッドの位置に注意してください。

- バーコードと通常の文字を同じ行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。その場合は、バーコードコマンドを分解し、n/120インチ改行命令により改行する必要があります。

① 文字ピッチ分のバーコードの幅の長さを指定します。
バーコードの縦の長さ　＝　改行ピッチ
　　　　　　　　　　　＝　1/6インチ
　　　　　　　　　　　≒　27/160インチ＊1
n1=27

② ①のコマンド終了時に、印刷ヘッドを次の印刷行に改行させます。
改行幅　＝　印刷ヘッドの高さ
　　　　＝　24/160インチ
　　　　＝　18/120インチ
n2=18

③ 残りのバーコードを印刷します。
残りのバーコードの縦の長さ　＝　バーコードの縦の長さー①のコマンドの縦の長さ
　　　　　　　　　　　　　　＝　54/160-27/160インチ
　　　　　　　　　　　　　　＝　27/160インチ
n3=27

- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の長さの方が大きい場合、バーコードの下端とその下部の文字が離れる場合があります。

＊1　バーコードの縦の長さを1/160インチに換算したときの端数は保持されます。この端数の累積による印刷位置ずれを防ぐためには、改ページコード（FF）で改ページするか、1/160インチ換算で端数のないバーコードの縦の長さを設定してお使いください。

カスタマバーコードを印刷する

本プリンタでは、カスタマバーコードは、通常の漢字と同様に2バイト文字として扱われます。したがって、201PLで定義された文字制御（文字幅、文字サイズ、アンダーライン、文字修飾など）の影響を受けます。しかし、カスタマバーコードの仕様から逸脱した文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾などが行われると、読み取り機で読み取れなくなってしまいますので注意が必要です。カスタマバーコードは文字サイズ9.5ポイント、文字幅2/15インチの設定で印刷してください。

カスタマバーコードに盛り込む情報は、文字、-（ハイフン）、およびアルファベットから構成される新郵便番号および住所表示番号*です。ただし住所の方書き部分にビル、マンション等の棟・室番号などが存在する場合には、これを含めます。（＊住所番号とは住所の文字部分をハイフンで結んだものであり、住所表示実施地域については丁目一番一号まで、住居表示未実施地域については番地一枝番までの情報を基本とします）。

- 住所表示実施地域の例
  〒153　世田谷区若林3丁目16番4号
  ↓
  154-0023　3-16-4
  新郵便番号　住所表示番号
- 住所表示実施地域の例
  〒213　川崎市高津区溝口1207-4
  ↓
  213-0001　1207-4
  新郵便番号　住所表示番号

カスタマバーコードフォントを指定する制御コード

<2バイト文字書体の選択>
[FS] [0] [6] [F] [2] [-] [n1] [n2] [n3]

[n1] [n2] [n3] は3桁の文字表現の10進数であり、書体番号を示します。
851　カスタマバーコード書体（回転なし）
CLR　2バイト文字書体を初期状態に戻す。

カスタマバーコードのフォーマット

以下にカスタマバーコードのフォーマットを示します。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号をつなぐハイフンは省くものとします。また、英字1文字は、制御コードと数字コードの組み合わせにより実現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット　：スタートコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックディジット＋ストップコード
バーコード桁数：　(1)　(7)　(13)　(1)　(1)

<住所表示番号が規定の桁数13桁に対して過不足のある場合>

- 13桁を超える場合　13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目にあたる場合、この制御コードに該当するバーコードまでを含めるものとする。
- 13桁に満たない場合　13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとする。

また、チェックディジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数になるように生成する。
各キャラクタのチェック用数字への置き換えは、次のとおりです。

キャラクタ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

＜住所表示番号を抜き出すルール＞

- 町域名以降の住所から、住所表示番号を抜き出す基本ルールは次のようになります。

① アルファベットの小文字は大文字に置き換える。
② “&”、“／”、“・”、“.” は取り除き、後ろのデータをつめる。
③ ①、②で整理されたデータから算用数字、ハイフン、連続していないアルファベット1文字を必要な文字情報として抜き出す。
④ 抜き出された文字の前にある「漢字」、「かな文字」、「カタカナ文字」、「漢数字」、「2文字以上連続したアルファベット文字」、「ブランク」はハイフン1文字に置き換える。
⑤ ④の置き換えで、ハイフンが連続する場合には1つにまとめる。
⑥ 先頭がハイフンの場合は取り除く。

- さらに次のような補足ルールがあります。

① 漢数字が下記の特定文字の前にある場合は抜き出し対象とし、算用数字に変換して抜き出す。
特定文字：「丁目」、「丁」、「番地」、「番」、「号」、「地割」、「線」、「の」、「ノ」
② 連続していないアルファベット 1文字は抜き出し対象となるが、算用数字に続くアルファベット1文字 ‘F’ に限っては抜き出し対象としない。
③ ②に記述したように、算用数字に続くアルファベット1文字 ‘F’ は抜き出し対象とならないが、さらに、‘F’ 以降のデータに抜き出し対象となる文字がある場合、F’ はハイフン1文字に置き換える。
④ 抜き出し後のバーコードデータについて、アルファベット文字の前後にあるハイフンは取り除く。
⑤ ④の処理でアルファベット文字の前後に当たるハイフンを取り除いた結果、2文字以上の連続したアルファベット文字が残った場合、取り除かないでそのままにする。

例） 住所表示番号抜き出し例

東3丁目ー20ー5　郵便・A&bコーポB603号
↓　（基本ルール①）
東3丁目ー20ー5　郵便・A&BコーポB603号
↓　（基本ルール②）
東3丁目ー20ー5　郵便ABコーポB603号
↓　（基本ルール③、④）
ー3ーー20ー5ーB603
↓　（基本ルール⑤、⑥）
3ー20ー5ーB603
↓　（補足ルール④）
3ー20ー5B603

例）カスタマバーコードの生成例

- 住所
千葉県鎌ケ谷市右京塚　東3丁目ー20ー5　郵便・A&bコーポB603号
- 新郵便番号（273ー0102）＋住所表示番号（3ー20ー5B603）
273ー01023ー20ー5B603
- 郵便番号の3～4桁目間のハイフンを省く
27301023ー20ー5B603
- 英字は制御コード＋数字に置き換える
27301023ー20ー5CC1　1　603
- 住所表示部分が13桁になるまで制御コードCC4を付加する
27301023ー20ー5CC1　1　603　CC4　CC4
- チェックディジット（CD）を計算する
2+7+3+0+1+0+2+3+10+2+0+10+5+11+1+6+0+3+14+14+CD=94+CD=19の倍数
CD=(19 x 5)ー94=1
- CD、スタートコード、ストップコードを付加する
STC　27301023ー20ー5CC1　1　603　CC4　CC4　1　SPC
- それぞれのコードを読み取る
＜27301023ー20ー5a1603dd1＞
- プリンタの印刷モードを漢字（横印刷）モード設定にするため、ESC Kコマンドをプリンタに送信する。
- 読み替えたコードをプリンタに送信する。

カスタマバーコードのコード体系

- 数字（0～9）
- ハイフンおよびスタート・ストップコード
- 制御コード（英語用制御コード3種・予備用制御コード5種）
- 英字（A～Z）

以下の文字コード以外が指定されたときは、全角スペースを印刷します。

数字

キャラクタ	0	1	2	3	4
コード割付	2330h 数字「0」	2331h 数字「1」	2332h 数字「2」	2333h 数字「3」	2334h 数字「4」
カスタマバーコード					
コード組合せ	−	−	−	−	−
バー種類	144	114	132	312	123

キャラクタ	5	6	7	8	9
コード割付	2335h 数字「5」	2336h 数字「6」	2337h 数字「7」	2338h 数字「8」	2339h 数字「9」
カスタマバーコード					
コード組合せ	−	−	−	−	−
バー種類	141	321	213	231	411

ハイフンおよびスタート・ストップコード

キャラクタ	−	スタート（STC）	ストップ（STP）
コード割付	215Dh マイナス「−」	2163h 不等号「<」	2164h 不等号「>」
カスタマバーコード			
コード組合せ	−	−	−
バー種類	414	13	31

制御コード（英字用制御コード、予備用制御コード）

英字用制御コード

キャラクタ	CC1	CC2	CC3
コード割付	2361h 英数字「a」	2362h 英数字「b」	2363h 英数字「c」
カスタマバーコード			
コード組合せ	―	―	―
バー種類	324	342	234

予備用制御コード

キャラクタ	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
コード割付	2364h 英数字「d」	2365h 英数字「e」	2366h 英数字「f」	2367h 英数字「g」	2368h 英数字「h」
カスタマバーコード					
コード組合せ	―	―	―	―	―
バー種類	432	243	423	441	111

英字

キャラクタ	A	B	C	D	E
コード割付	2361h+ 2330h	2361h+ 2331h	2361h+ 2332h	2361h+ 2333h	2361h+ 2334h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC1+0	CC1+1	CC1+2	CC1+3	CC1+4
バー種類	324144	324114	324132	324312	324123

キャラクタ	F	G	H	I	J
コード割付	2361h+ 2335h	2361h+ 2336h	2361h+ 2337h	2361h+ 2338h	2361h+ 2339h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC1+5	CC1+6	CC1+7	CC1+8	CC1+9
バー種類	324141	324321	324213	324231	324411

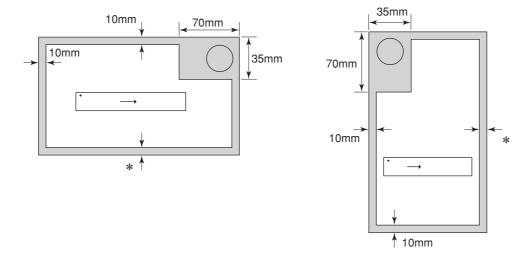
キャラクタ	K	L	M	N	O
コード割付	2362h+ 2330h	2362h+ 2331h	2362h+ 2332h	2362h+ 2333h	2362h+ 2334h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC2+0	CC2+1	CC2+2	CC2+3	CC2+4
バー種類	342144	342114	342132	342312	342123

キャラクタ	P	Q	R	S	T
コード割付	2362h+ 2335h	2362h+ 2336h	2362h+ 2337h	2362h+ 2338h	2362h+ 2339h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC2+5	CC2+6	CC2+7	CC2+8	CC2+9
バー種類	342141	342321	342213	342231	342411

キャラクタ	U	V	W	X	Y
コード割付	2363h+ 2330h	2363h+ 2331h	2363h+ 2332h	2363h+ 2333h	2363h+ 2334h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC3+0	CC3+1	CC3+2	CC3+3	CC3+4
バー種類	234144	234114	234132	234312	234123

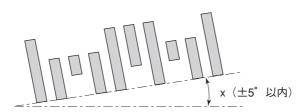
キャラクタ	Z
コード割付	2363h+ 2335h
カスタマバーコード	
コード組合せ	CC3+5
バー種類	234141

カスタマバーコードの印刷位置

カスタマバーコードの上下左右には2mm以上の余白を設けるものとなっています。ただし、窓枠の上下左右とカスタマバーコードの間の空白は封筒と内容物のズレにかかわらず、常に2mm以上必要です。
宛名を横書きする場合には、宛先氏名の直下にカスタマバーコードを単独で印刷します。
宛名を縦書きする場合には、左右または下部に単独で印刷します。
カスタマバーコードは郵便物の表面縁から10mmおよび消印領域である70mm x 35mmを除いた範囲内で印刷することができます。
ただし、＊部分はできるだけ15mm以上空けてください。
印刷方向は「・」を先頭とし、→の方向です。

カスタマバーコードが印刷される下地

カスタマバーコードが印刷されるバーコードの下地は白色または地模様のない淡い色のみです。

カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が、5度以内となるようにしてください。

使用するインクリボン

カスタマバーコードを印刷する時は黒のなるべく新しいインクリボンを使用してください。インクが薄くなったインクリボンで印刷するとバーコード読み取りができなくなる場合があります。

印刷品質

カスタマバーコード印刷面には反射率50%以上の紙を使用してください。印刷面とカスタマバーコードとの反射率PCSは0.6以上必要です。また、カスタマバーコードにはインクのにじみやかすれなどがないようにしてください。

OCR-B相当フォントを印刷する

OCR-B相当フォントとは次のようなフォントです。

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOI

以下の制御コードでANK文字の書体をOCR-B相当に指定することにより、ANK文字を印刷する際の書体がOCR-B相当になります。

FS 06F　書体選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

ANK文字フォントのうちどれを使うかを直接指定します。

n_1は“1”にします。
n21、n22、n23の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 0 …標準フォント
0 0 1 …イタリック
0 0 2 …クーリエ
0 0 3 …ゴシック
0 0 4 …OCR-B相当

索引

記号

O

ア

イ

オ

カ

キ

ケ

コ

シ

ス

セ

タ

テ

ト

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

メ

モ

ヨ

リ

レ

ロ

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会 のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）

電気通信事業法について

LANインタフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕 様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。